

川口市多文化共生指針策定委員会第3回委員会

平成29年7月20日（木）10時00分

かわぐち市民パートナーステーション会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）審議事項

ア 第2次川口市多文化共生指針の策定スケジュールについて

イ 第2次川口市多文化共生指針（素案）について

（2）報告事項

ア 川口市における外国人住民の現状について

（3）その他

3 閉 会

配布資料一覧

資料No.1	川口市多文化共生指針策定委員会委員名簿	1
資料No.2	第2次川口市多文化共生指針の策定スケジュール	3
資料No.3	第2次川口市多文化共生指針（素案）	5
資料No.4	川口市における外国人住民の現状について	21
資料No.5	川口市多文化共生社会のためのアンケート集計結果正誤表	29
別添資料1	埼玉県多文化共生推進プラン（平成29年度～平成33年度）	
別添資料2	多文化共生事例集（抄）	

川口市多文化共生指針策定委員会委員名簿

平成29年7月20日現在

NO.	区 分	氏 名	所 属 団 体 等
1	学 識 経 験 者	ほった まさなか 堀田 正央	埼玉学園大学人間学部子ども発達学科准教授
2	知 識 経 験 者	いづか もとあき 飯塚 元章	川口根岸郵便局局長
3	知 識 経 験 者	つじい かずお 辻井 一男	株式会社辻井製作所代表取締役社長
4	多文化共生関係団体	いとう よしかつ 伊藤 喜勝	NPO法人国際交流クラブ代表
5	多文化共生関係団体	すずき たけふみ 鈴木 健史	公益財団法人埼玉県国際交流協会 業務執行理事事務局長
6	地 縁 団 体	くまき きよし 熊本 喜好	前川地区連合町会長 前川3丁目町会町会長
7	地 縁 団 体	なんぶ ひろき 南部 博樹	仁志二町会町会長
8	外 国 人 市 民	じょ りん 舒 嵐	外国人市民
9	市 民	あべ えつこ 阿部 悦子	公募市民
10	市 民	おかざき ひろき 岡崎 広樹	公募市民

第2次川口市多文化共生指針の策定スケジュール

	開催日時	内容
平成29年		
第3回 川口市多文化共生 指針策定委員会	7月20日（木） 午前10時00分から かわぐち市民パートナーステーション 会議室1・2	策定案の審議 第1章 指針の趣旨 第2章 川口市における多文化共生の背景 第3章 多文化共生をめぐる現状と課題 第4章 指針の基本的な考え方 第5章 川口市多文化共生施策の位置づけと体系（一部） 第6章 計画の推進体制 第7章 これからの多文化共生の方向性
第4回 川口市多文化共生 指針策定委員会	10月5日（木） 午前10時00分から かわぐち市民パートナーステーション 会議室1・2	策定案の審議 前回委員会の確認 第5章 川口市多文化共生施策の位置づけと体系 資料編
パブリックコメント	11月中	
平成30年		
第5回 川口市多文化共生 指針策定委員会	1月中	パブリックコメントの実施報告 正本（案）の説明
正 本	2月以降	正本及び関係機関に配布・設置

第1章 指針の趣旨

1 目的

近年、本市では永住資格や日本国籍を取得する定住外国人が年々増加し、さらに研修生や留学生といった比較的短期間の滞在となる外国人^{*1}も増加するなど、そのライフステージは多様化し、外国人住民の暮らしに必要とされる支援策は高度化・複雑化しています。(p.4 図表3) 外国人の増加と定住化が進む中で、日本人住民にとっても外国人住民にとっても暮らしやすい多文化共生^{*2}の地域づくりが求められています。

また、平成32年(2020年)には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの訪日外国人がやってくることが予想されます。外国人の持つ多様性を活かしたまちづくりを推進することで、外国人の目線でも魅力的なまちになり、外国人が暮らしやすいまち、外国人旅行者が訪れやすいまち、居住地として選ばれるグローバルな都市としてのまちづくりを進めていくことも求められています。

このような社会情勢に対応するため、本市では、日本人住民と外国人住民が多様な価値観を認め合いながら、ともに学び、ともに働き、ともに安心して暮らしやすい、そして気軽に訪れて快適にすごしやすい多文化共生社会の実現を目指して、「第2次川口市多文化共生指針」の策定を行います。

2 経緯

国では平成18年に「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、各地方自治体においてもこれに基づき地域の实情に沿った計画を策定し、多文化共生施策を推進してきました。

埼玉県においても、平成19年12月に県として推進すべき施策について「埼玉県多文化共生推進プラン」を策定し、平成24年7月の見直しを経て、平成29年に新たな「埼玉県多文化共生推進プラン」を取りまとめました。

本市においては、平成23年度に「川口市多文化共生指針」を策定し、平成26年度に改訂をしましたが、計画期間が満了したことから、これまでの成果を基に市として推進すべき施策について改めて検討を行い、「第2次川口市多文化共生指針」の策定を行うものです。

*1 外国人とは、日本の国籍を有しない者をいう。(出入国管理及び難民認定法第2条第2号)

*2 多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。(多文化共生の推進に関する研究会報告書 2006.3 総務省)

3 国の動向

日本における外国人住民数は、平成 27 年末で 223 万 2,189 人と過去最高を更新し、日本の総人口に占める外国人住民の割合も過去最高の 1.76%となっていて、増加傾向にあります。

近年における外国人政策の大きな転換は、平成 24 年 7 月に施行された在留管理制度と住民基本台帳制度であり、これにより、従前の外国人登録制度は廃止され、外国人住民も住民基本台帳制度の適用対象になり、外国人住民に対して市町村が行政サービスを提供する基盤が確立されました。

また、平成 25 年より毎年改訂されている「日本再興戦略」によれば、外国人は日本経済の「担い手」として捉えられ、専門的な技術や知識を持つ外国人労働者を「高度外国人材」として活用し、または積極的に呼び込んでいくことを中心に謳われてきました。少子高齢化や人口減少社会といった社会問題に直面していく中で、外国人住民の果たす役割は大きく、ますます重要な位置づけになっていくものと捉えています。

4 県の動向

埼玉県における外国人住民数は、平成 27 年末で 13 万 9,656 人と県人口の 1.9%を占めています。これは全国の都道府県別で第 5 位の多さとなっています。また、「永住者、日本人や永住者の配偶者等、定住者」を合計すると 77,774 人であり、これは平成 12 年末に比べて 1.8 倍に増加しており、外国人の定住化が顕著に表れています。

さらには、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催され、県内の施設において一部の試合が行われることなどから外国人観光客が増えることが見込まれます。外国人観光客が増加すれば、インバウンド消費などで地域経済の活性化も期待できることから、県では外国人案内ボランティアを育成するなど、外国人観光客の増加に柔軟に対応できる体制づくりを進めています。

5 川口市の動向

川口市の外国人の数は、平成 29 年 1 月 1 日現在 29,989 人で、この 3 年間で約 1.3 倍に増加し、総人口の約 5%となりました。(p.2 図表 2)

一方で、少子高齢化が加速して社会問題となっている中、本市においても平成 32 年をピークに人口減少社会に入ると予測されています。こうした状況から、外国人住民を「支援される側」から「支援する側」として捉え直し、高度な技能や知識、様々な文化的背景を持ち、個性豊かで活気溢れる外国人住民の多様性をまちづくりに活かす、新たな多文化共生の段階に入っているといえます。

このような現状を踏まえ、市では、日本人及び外国人へアンケートを実施し、日本人住民と外国人住民がどのように多文化共生を進めていくべきか再度検討を行い、新たな「川口市多文化共生指針」を取りまとめました。

6 計画の期間

計画の期間は 5 年間とし、平成 34 年度までに取り組むべき施策を取りまとめています。

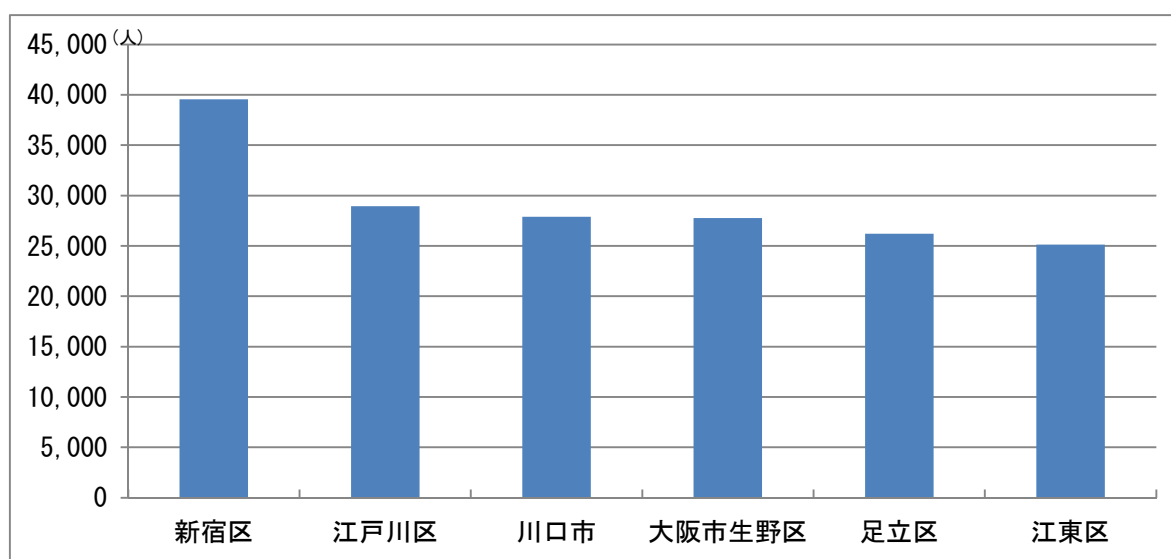
なお、平成 29 年度については、「川口市多文化共生指針 改訂版」の計画を踏襲し、本指針では、平成 30 年度以降の計画を策定するものとします。

第2章 川口市における多文化共生の背景

1 全国における川口市の状況

川口市に居住する外国人は年々増加し続けており、県内では、政令市のさいたま市を抑えて最も多い住民数となっています。また、全国では、1位の新宿区 39,568 人、2位の江戸川区 28,930 人に次いで、3位が川口市 27,906 人となっており、以下、4位が大阪市生野区 27,763 人、5位が足立区 26,199 人、そして江東区 25,139 人の順となっています。（平成 27 年 12 月末日現在）

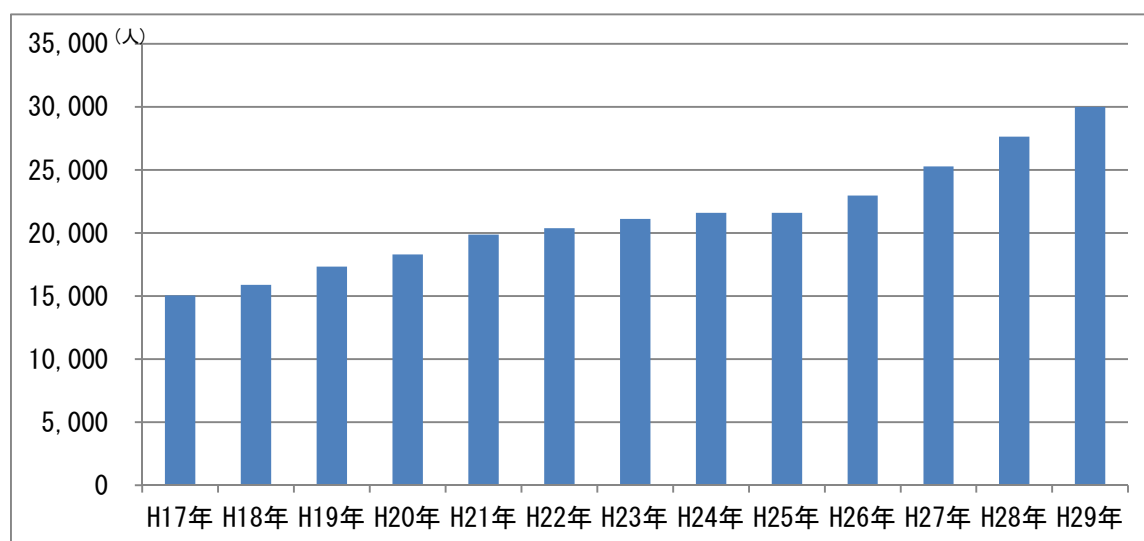
図表 1 全国における在留外国人の数上位市町村（平成 27 年 12 月末日現在）



資料：法務省統計

平成 29 年 1 月 1 日現在、市内の外国人は 29,989 人（市の人口の 5.0%）で、平成 17 年 1 月 1 日現在 15,049 人（市の人口の 3%）の約 2.0 倍に増えています。

図表 2 川口市における外国人の数の推移（各年 1 月 1 日現在）



※H23 年以前は旧鳩ヶ谷市との合併前のため、鳩ヶ谷地域の外国人数を含みません。

資料：川口市統計

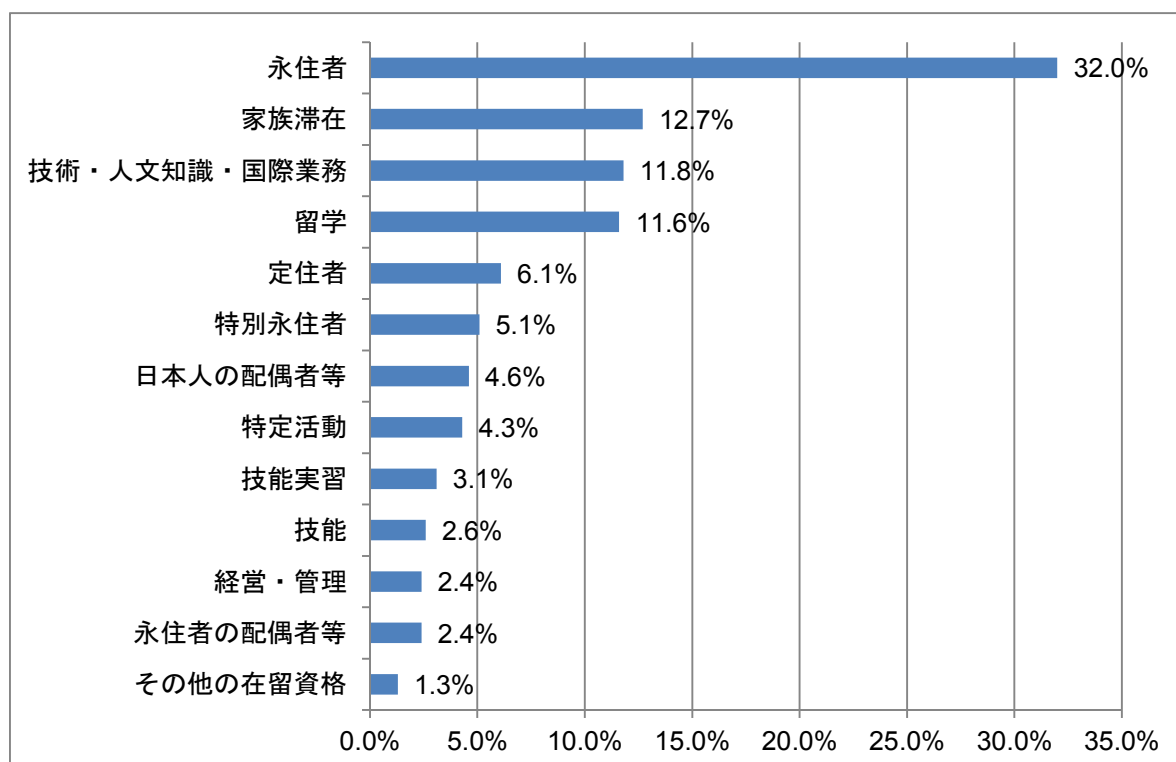
2 在留資格別でみる外国人の状況

川口市に在住する外国人を在留資格別でみると、平成 29 年 1 月 1 日現在では、「永住者・日本人や永住者の配偶者等、定住者」を合計した人数は 13,524 人で、外国人全体に占める割合は 45%になっており、本市における外国人定住化の傾向を示しているといえます。

図表 3 川口市における外国人の数（在留資格別 平成 29 年 1 月 1 日現在）

順位	在留資格	人数（人）	比率（%）
1	永住者	9,605	32.0
2	家族滞在	3,813	12.7
3	技術・人文知識・国際業務	3,535	11.8
4	留学	3,488	11.6
5	定住者	1,825	6.1
6	特別永住者	1,538	5.1
7	日本人の配偶者等	1,376	4.6
8	特定活動	1,299	4.3
9	技能実習	942	3.1
10	技能	768	2.6
11	経営・管理	721	2.4
12	永住者の配偶者等	718	2.4
	その他の在留資格	361	1.3
	合計	29,989	100

資料：川口市統計



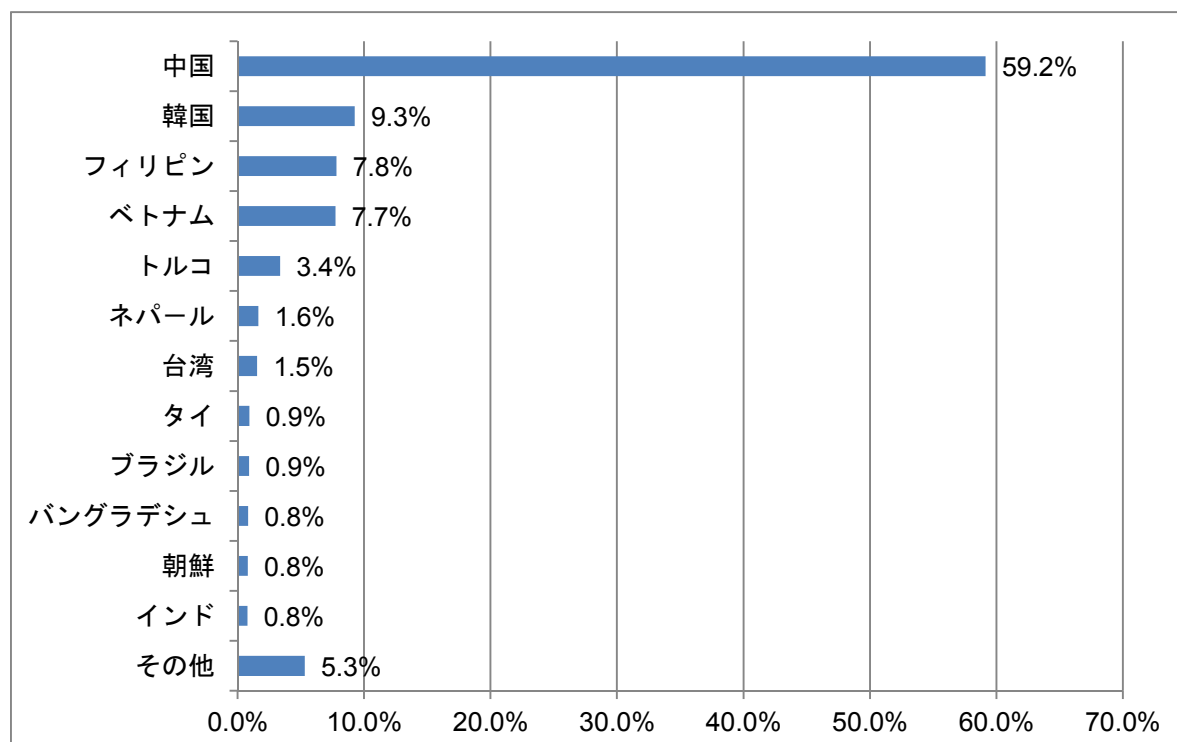
3 国籍・地域別でみる外国人の状況

平成 29 年 1 月 1 日現在、川口市では 99 の国・地域に及び外国人が在住しており、国籍・地域別でみると、中国が 17,741 人で外国人全体に占める割合が約 60%と最も多く、以下、韓国、フィリピン、ベトナム、トルコと続いています。

図表 4 川口市における外国人の数（国籍・地域別 平成 29 年 1 月 1 日現在）

順位	国籍・地域	人数（人）	比率（％）
1	中国	17,741	59.2
2	韓国	2,775	9.3
3	フィリピン	2,346	7.8
4	ベトナム	2,322	7.7
5	トルコ	1,009	3.4
6	ネパール	491	1.6
7	台湾	462	1.5
8	タイ	279	0.9
9	ブラジル	270	0.9
10	バングラデシュ	250	0.8
11	朝鮮	242	0.8
12	インド	232	0.8
	その他の国籍・地域	1,570	5.3
	合計	29,989	100

資料：川口市統計



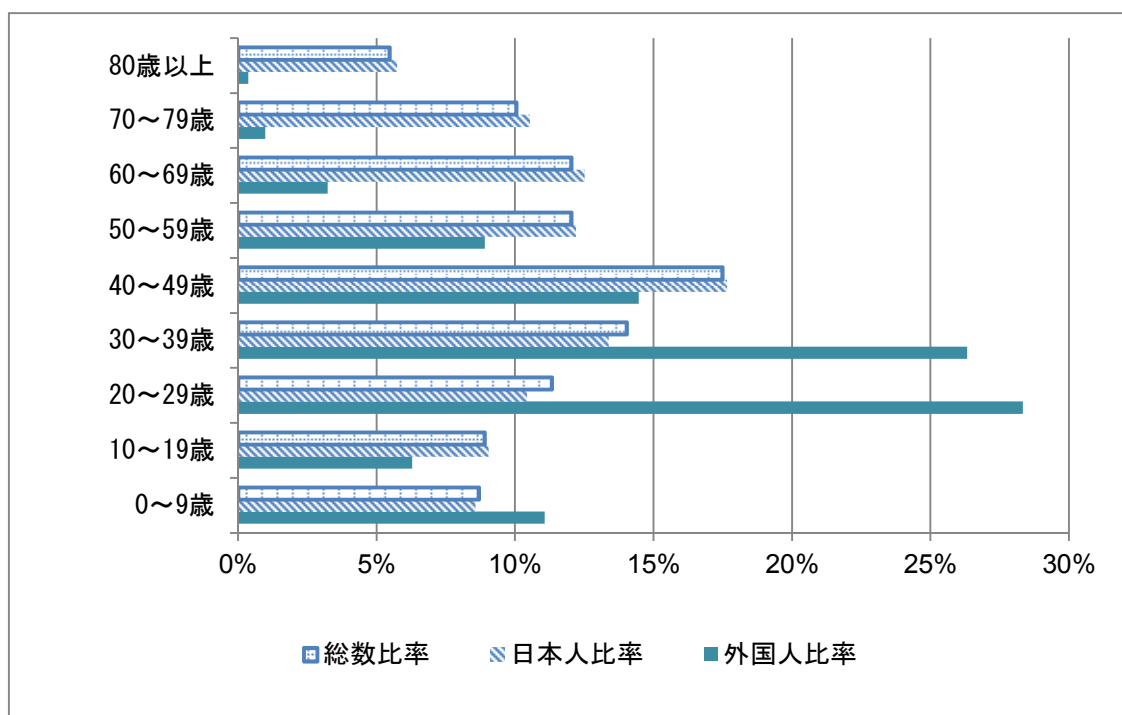
4 年齢別でみる外国人の状況

平成 29 年 1 月 1 日現在、川口市の外国人数を年齢別でみると、15 歳以上 65 歳未満の生産年齢人口の割合が、日本人が 63%であるのに対し、外国人は 84%と非常に高く、少子高齢化や人口減少社会による労働力不足解消の担い手として期待されます。

図表 5 川口市の年齢階級別人口（平成 29 年 1 月 1 日現在）

年齢階級別 (歳)	外国人	比率 (%)	日本人	比率 (%)	総数	比率 (%)
0～9	3,320	11.1	48,415	8.6	51,735	8.7
10～19	1,887	6.3	51,092	9.0	52,979	8.9
20～29	8,499	28.3	58,927	10.4	67,426	11.3
30～39	7,893	26.3	75,641	13.4	83,534	14.0
40～49	4,340	14.5	99,810	17.6	104,150	17.5
50～59	2,671	8.9	68,976	12.2	71,647	12.0
60～69	971	3.2	70,697	12.5	71,668	12.0
70～79	296	1.0	59,508	10.5	59,804	10.0
80 以上	112	0.4	32,440	5.7	32,552	5.5
合計	29,989	100.0	565,506	100.0	595,495	100.0

資料：川口市統計



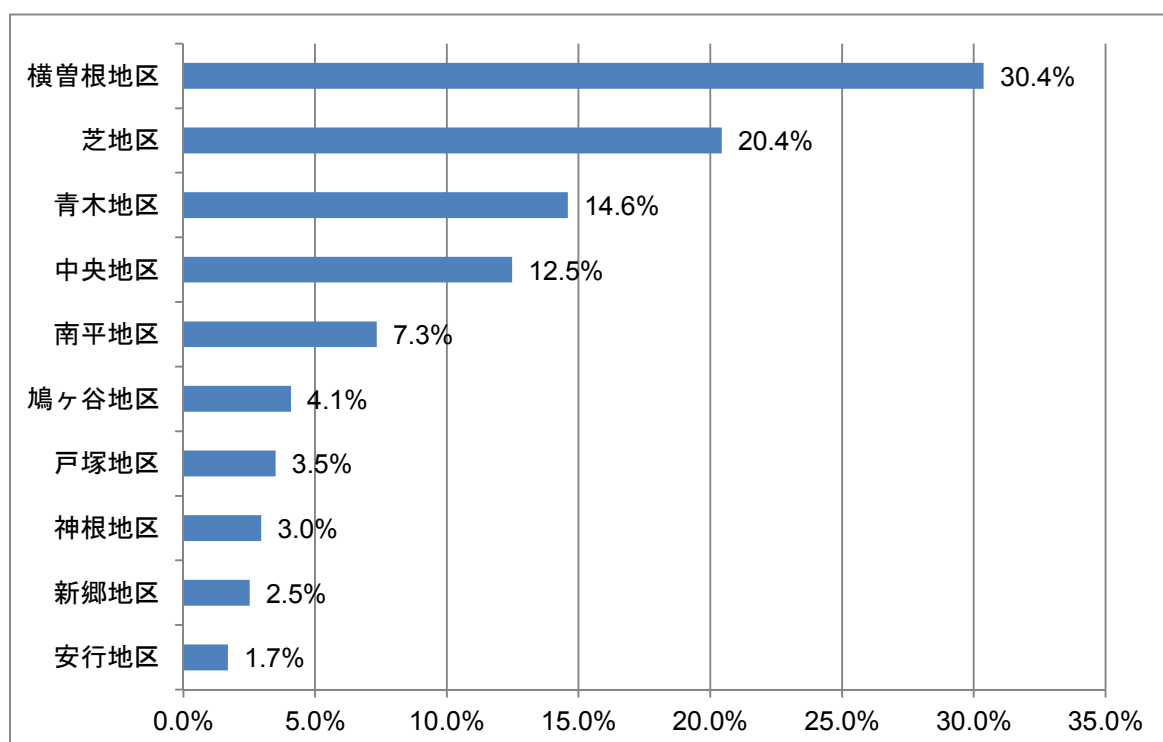
5 地区別でみる外国人の状況

川口市の外国人数を地区別でみると、横曽根地区が9,110人と最も多く、次いで芝地区6,129人、青木地区4,377人、中央地区3,743人、南平地区2,203人で、上位5地区で外国人全体の80%以上を占めています。

図表6 川口市の地区別外国人の数（平成29年1月1日現在）

	地区	人数（人）	比率（％）
1	横曽根地区	9,110	30.4
2	芝地区	6,129	20.4
3	青木地区	4,377	14.6
4	中央地区	3,743	12.5
5	南平地区	2,203	7.3
6	鳩ヶ谷地区	1,224	4.1
7	戸塚地区	1,052	3.5
8	神根地区	887	3.0
9	新郷地区	756	2.5
10	安行地区	508	1.7
	合 計	29,989	100.0

資料：川口市統計



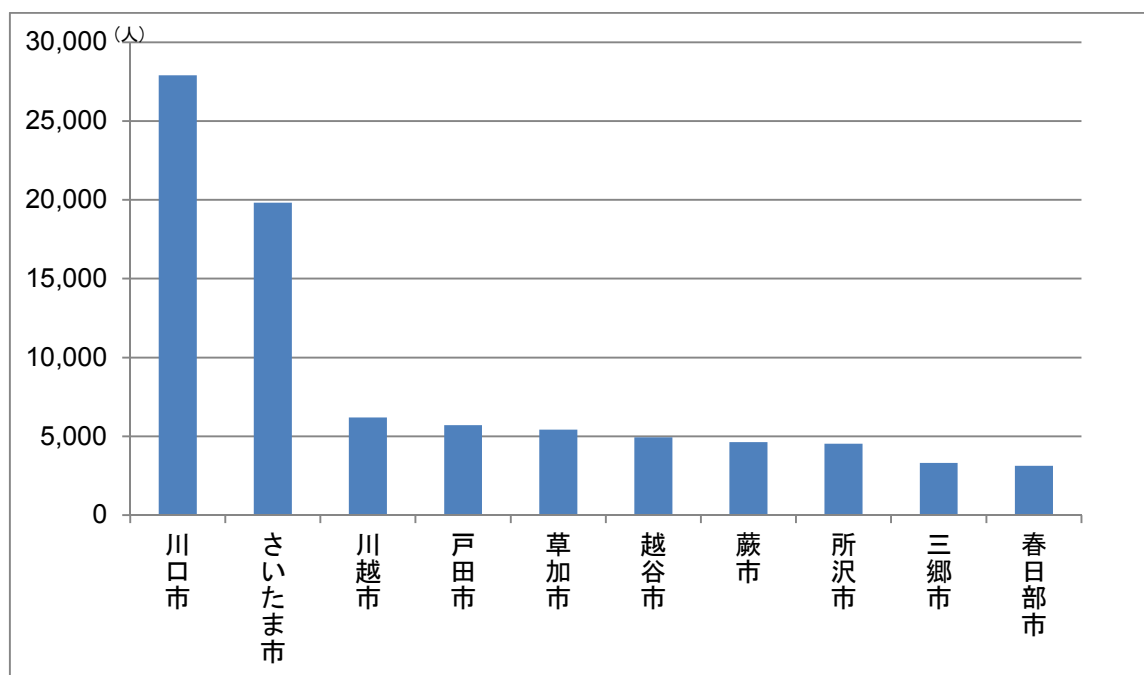
6 埼玉県における川口市の状況

埼玉県内における市町村別在留外国人数は、川口市が27,906人と最も多く、さいたま市が19,829人と続きます。住民に対する外国人構成比は、蕨市が6.4%と最も多く、川口市が4.8%と続いています。

図表7 埼玉県における外国人の数上位市町村（平成27年12月末現在）

順位	市町村名	外国人の数（人）
1	川口市	27,906
2	さいたま市	19,829
3	川越市	6,192
4	戸田市	5,710
5	草加市	5,428
6	越谷市	4,948
7	蕨市	4,642
8	所沢市	4,526
9	三郷市	3,317
10	春日部市	3,135

資料：埼玉県国際課調べ



第3章 多文化共生をめぐる現状

1 日本語習得の必要性

外国人住民が安心して地域で生活を送るためには、地域の人たちとお互いにコミュニケーションができることが重要で、そのためには地域のコミュニケーションで使われる日本語の習得が必要となります。

文部科学省の調査では公立小中高校などに在籍する外国人児童生徒のうち、日常生活や授業に支障があり、日本語指導が必要な子どもは、平成28年5月1日時点で全体の4割にのぼり、そのうち実際に特別な指導を受けている子どもの割合は76.9%にとどまっているとされており、今後はさらなる支援が必要です。

また、学齢期を過ぎた大人の外国人住民についても日本語の習熟度が不十分な人がいることから、日本語の学習意欲の醸成と日本語学習の支援が必要です。

2 多言語による情報提供

日本語の能力が十分でない外国人住民の日本語学習を支援していく一方で、多言語によるわかりやすい情報提供も必要です。

本市では、外国人住民の利用頻度が高い書類や情報については、多言語による情報提供や啓発が進んできました。

しかし、税や年金、福祉といった日本の様々な制度の理解についてはまだまだ進んでいないのが現状で、さらなる取り組みの加速が必要です。

3 コミュニケーションによる理解と協調

外国人住民が安心して暮らせる多文化共生社会は行政だけで実現できるものではありません。日本人住民と外国人住民が地域でお互いにコミュニケーションができることが重要です。外国人住民の中には、日本語の習熟度が十分でない人も多くいるため、日本語が理解できないことや情報が正確に伝わらないことにより、ルールやマナーの誤解やトラブルが生じることがあります。

地域でのコミュニケーションが十分でない場合、日本人・外国人住民相互の理解や協調が不十分になり、外国人住民が孤立して地域への参加の機会が失われてしまうことから、地域でのコミュニケーションの支援が必要です。

4 日常生活を送るための環境

(1) 居住

本市で実施したアンケート調査で、外国人住民の住家の種類は「民間の共同住宅」46.4%、「公営の共同住宅」5.1%、と5割方を賃貸住宅が占めています。一方で、賃貸住宅に入居しようとする際、敷金・礼金など外国人には一般的でない慣行があることや、保証人を探すのに苦労したり外国人という理由で入居を断られるなど、様々なトラブルが発生することがあります。

(2) 教育

教育にあっては外国人に就学義務は課せられていないものの、日本人と同様に扱うものとされていることから、日本の教育制度の周知や就学の促進を進めていく必要があります。一方で、外国人児童生徒については、言葉の壁によりコミュニケーションがうまく取れなかったり、学校での授業の理解に支障をきたすことがあり、現状としては、学校に通っている児童・生徒の4割程度には特別な日本語指導が必要とされています。

(3) 労働

外国人住民が地域で自立した生活を送るためには、労働できる環境を整えていくことが必要です。就業はもちろんのこと、低賃金や長時間労働、不当な解雇、社会保険の未加入など、外国人住民の労働環境をめぐる課題や問題は様々であり、その解決には行政の支援も必要です。

(4) 医療・保健・福祉

外国人住民のライフステージは多様化し、入院や出産、子どもの健康など、外国人住民が日本の医療や福祉サービスを受けなければならない場面は増えています。しかし、公的医療保険に未加入で医療費が高額になることをおそれて重症になるまで受診しなかったり、言葉の壁により病院に行っても適切な診察を受けられなかったりするなど、安心して医療サービスを受けられない懸念があります。

また、健康診断、感染症対策、介護など、保健や福祉の分野においても制度が十分に理解されていなかったり、言葉の壁により、適切な保健・福祉サービスに支障をきたすことがあります。

(5) 防災・防犯

日本語が十分でない外国人住民は、災害発生時に被害情報や避難情報が得られなかったり、避難所でうまくコミュニケーションがとれず、災害弱者になってしまうおそれがあります。

地域の生活においても、日本語の理解が不十分なために防犯情報を理解できず、犯罪に巻き込まれてしまうおそれがあります。

外国人住民が地域で安心して暮らしていくためには、日本語の習得や多言語による防災・防犯の情報提供といったサポートが必要です。

第4章 指針の基本的な考え方

1 基本理念

日本人住民も外国人住民とともに尊重・理解し合う元気な川口のまちづくり

「多文化共生」という考え方の基本は、日本人住民も外国人住民も、互いに文化的な違いを認め合い、ともに地域社会を支える主体であるという認識が重要です。川口市では、年々外国人住民が増加し続けており、様々な国籍・民族の外国人が地域で暮らしています。日本人住民も外国人住民もそれぞれが持つ魅力や個性、多様性を活かし、多様な主体が共生共存できる元気な川口のまちづくりを進めていきます。

2 基本方針

・異文化交流	⇒	さまざまな交流や啓発の活性化
・国際理解	⇒	誰もがお互いを尊重・理解し合える環境づくり
・多様な文化の躍動	⇒	人権を尊重し、外国人住民の多様性を活かしたまちづくり

これまで「支援の対象」でしかなかった外国人住民の多様性をまちづくりの新たな資源として掘り起こし、東京オリンピック・パラリンピック2020に向けて外国人目線でのまちづくりも推進し、旅行者が訪れやすいまち、居住先として魅力的なまちづくりを目指します。

日本人住民と外国人住民のさまざまな交流や啓発の機会を設け、豊かな個性を発揮し、誰もがお互いに尊重・理解し合える環境を整え、人権を尊重し、差別のない、誰もが安心して暮らせる多文化共生のまち・川口をめざしていきます。

3 基本指標

多言語ボランティアの登録者数

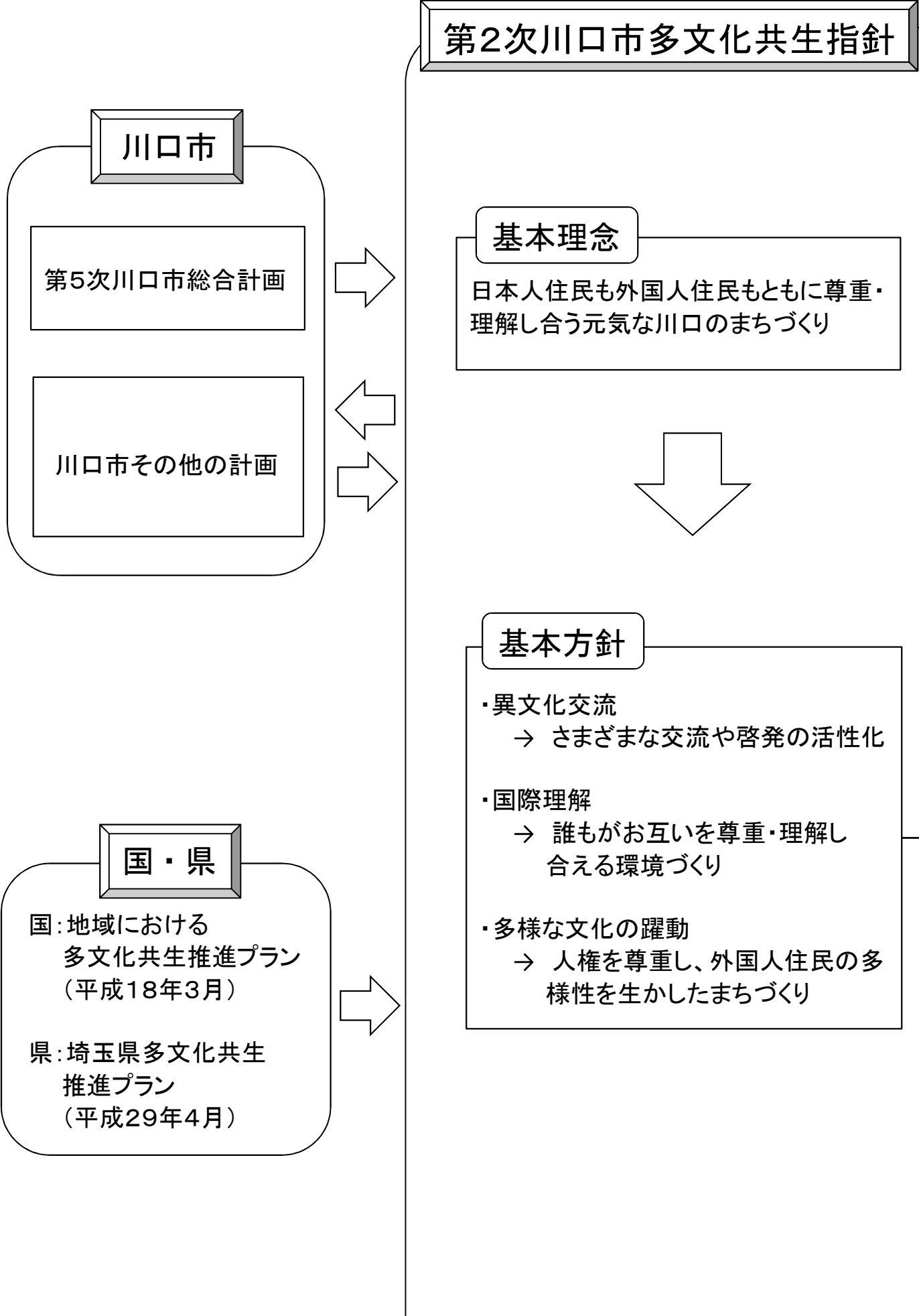
現状値（平成28年度）	⇒	目標値（平成34年度）
64人		90人
市に登録される多言語ボランティアを増員して、多文化共生事業の充実を図ります。		

多文化共生事業の参加者数

現状値（平成28年度）	⇒	目標値（平成34年度）
620人		外国人住民数の伸び率を上回る人数
多文化共生事業の参加者数が外国人住民数の伸び率を上回る人数に増加することをめざします。		

多文化共生事業の満足度

現状値（平成28年度）	⇒	目標値（平成34年度）
未調査		80%以上
多文化共生事業参加者向けアンケートにおいて、満足度の向上をめざします。		



→ 1 コミュニケーション支援

- (1) 多様な言語を活用した情報提供
 - ア 多様なメディアによる情報提供
 - イ ユニバーサルデザイン・ピクトグラムの活用
- (2) 地域生活のためのオリエンテーション実施
- (3) 外国人住民のための相談窓口の設置
- (4) 日本語学習の支援

→ 2 生活支援

- (1) 居住
 - ア 住居相談の対応
- (2) 教育
 - ア 学校
 - (ア) 外国人の子どものための日本語指導
 - (イ) 外国語教育の充実
 - (ウ) 不就学の子どもへの対応
 - イ 幼児教育
 - (ア) 幼児教育制度の周知および多文化対応
 - ウ 進路相談
 - (ア) 学校入学時の就学案内や就学援助制度の多様な言語による情報提供
 - (イ) 進学相談
- (3) 労働
 - ア 外国人労働者への支援
- (4) 医療・保健・福祉
 - ア 外国語対応可能な病院・薬局に関する情報提供
 - イ 医療機関における多言語対応の推進
 - ウ 広域的な医療通訳者派遣システムの構築
 - エ 健康診断や健康相談の実施
 - オ 保育などの子育て情報の提供
 - カ 高齢者・障害者への対応
- (5) 防災・防犯
 - ア 災害時における多言語対応
 - イ 通訳等災害ボランティア派遣体制の整備
 - ウ 外国人に特化した防災啓発
 - エ 外国人に特化した防犯・交通安全啓発

→ 3 国際交流・理解

- (1) 国際交流
 - ア 中学生及び高校生の海外派遣
 - イ ホームステイの斡旋
- (2) 国際理解
 - ア 多文化共生をテーマにした交流イベントの開催
 - イ 多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進
 - ウ 地域の外国人を活用した多文化共生の推進
 - エ ヘイトスピーチなどの差別・いじめの対策
- (3) 地域社会への参加
 - ア 地域住民等に対する多文化共生の啓発
 - イ 町会、自治会等を中心とする取り組みの推進
 - ウ 外国人住民の町会・自治会への参加促進

→ 4 多文化共生の推進体制

- (1) ボランティア等との協働体制構築
- (2) キーパーソン・ネットワークの構築
- (3) 外国人住民の意見を地域の施策に反映させる仕組みの導入

第6章 計画の推進体制

1 市民、市民団体、関係機関および市の連携

外国人住民を取り巻く問題は生活の幅広い分野にまたがっており、地域全体の課題として、県や市町村、県国際交流協会、警察、市民団体（NPO、NGO、ボランティア団体等）、企業、地縁団体（町会・自治会等）などが適切な役割分担のもとに取り組む必要があります。

2 庁内各課との横断的な連携体制

多文化共生施策や外国人住民を取り巻く問題は幅広く多岐にわたることから、「川口市多文化共生推進委員会」により庁内横断的な連携を図り、または必要に応じて各課と個別の連携を図り、様々な問題の解決や多文化共生事業の推進に取り組んでいきます。

3 他の計画等との整合性

本市では、第5次川口市総合計画をはじめとして、様々な個別計画を策定されております。第2次川口市多文化共生指針は、様々な施策と関連することから、総合計画や個別計画と相互に整合を図りながら、計画を推進していきます。

4 計画推進の視点

すべての人が安心して幸せに暮らすことができるように、国籍や民族の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、男女の人権が尊重され、日本人住民と外国人住民が共生し地域のコミュニティに自ら参加していくことが必要です。

今後も外国人の永住化、定住化が進み、外国人住民数は全体として増加するものと考えられる中、外国人住民も社会を構成する一員であり、その才能を発揮し社会を支えていく存在であるとの視点に立つことが重要となります。

第7章 これからの多文化共生の方向性

1 新たな資源としての外国人住民の多様性を活かしたまちづくり

川口市では、99の国と地域からなり3万人を超える多様で個性豊かな外国人住民が居住しています。これらの外国人住民を「支援される側」から「支援する側」に捉え直して、外国人住民のまちづくりへの参加を促していきます。

第5次川口市総合計画の「めざす姿Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”」の「5 地域資源の活用」における単位施策と主な取り組みの中に「既存の地域資源に加えて新たな資源の掘り起こしやブランド化を促進し、また、活用のための環境整備を行います。」との方向性が示されています。また、同計画の「基本構想」にも「本市の限られた資源を効果的・効率的に活用して、多くの人々から選ばれるまちをめざす。」と示されています。

これまで支援の対象でしかなかった外国人住民を、多様性を活かしたまちづくりの「新たな資源」として掘り起こし、この「新たな資源」をまちづくりに効果的・効率的に活用して東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて外国人目線でのまちづくりを推進することが、旅行者が訪れやすいまち、居住先として選ばれる魅力的でグローバルなまちとなり、多くの人々から選ばれるまちの実現が見えてくることを意味します。そして、新たな資源としての外国人住民の多様性を活かしたまちづくりを推進することが、外国人住民の多様性を活かすための地域の環境整備にもつながり、多文化共生の発展したまちとしての川口市の姿が見えてきます。

2 高度人材の卵としての留学生の活用

平成29年1月1日現在、本市の在留外国人に占める留学生の割合は約12%で、一定の割合を占めています。一方で、政府の日本再興戦略2016では、外国人留学生の就職割合を3割から5割にすることを打ち出しています。地方創生の観点からも、外国人留学生の多様性を活かした起業などによる地域経済の活性化が望まれます。

第5次川口市総合計画の「序論3 社会情勢の変化」において、少子高齢化や人口減少社会、産業構造の変化について触れられており、「めざす姿Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”」の「1 地域経済基盤づくり」にて「創業・起業の支援」を、「3 活気ある商業の振興」にて「空き店舗対策」が謳われています。

今後は、少子高齢化や人口減少社会の到来に伴い、外国人留学生の就業のほかに創業や起業を促進し、さらには地域の空き店舗対策の解消にもなり、地域経済を活性化につながっていきます。

日本語を学び、日本の生活習慣も身に付けた高度人材の卵の外国人留学生を活かせれば、生産性の向上や労働力不足を解消した「人と産業が元気なまち」の実現が見えてきます。

3 技能実習生の活用

市内では、企業における外国人研修生の受け入れは古くから取り組まれてきました。現在では、川口商工会議所が受け入れ機関の監理団体認定を取得するなど、全国的にも特色ある技能実習生の取り組みをしています。

また、平成28年度の川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に、市内製造業等を支え

る外国人技能実習生への支援の施策が盛り込まれています。その中で「今後は、多文化共生のまちづくりを担う人材としても、実習生に期待が寄せられています。」とあり、「外国人研修生を活用した交流・PR事業の中で、技能実習生と市民の交流を増やしていく」ことを目指しています。

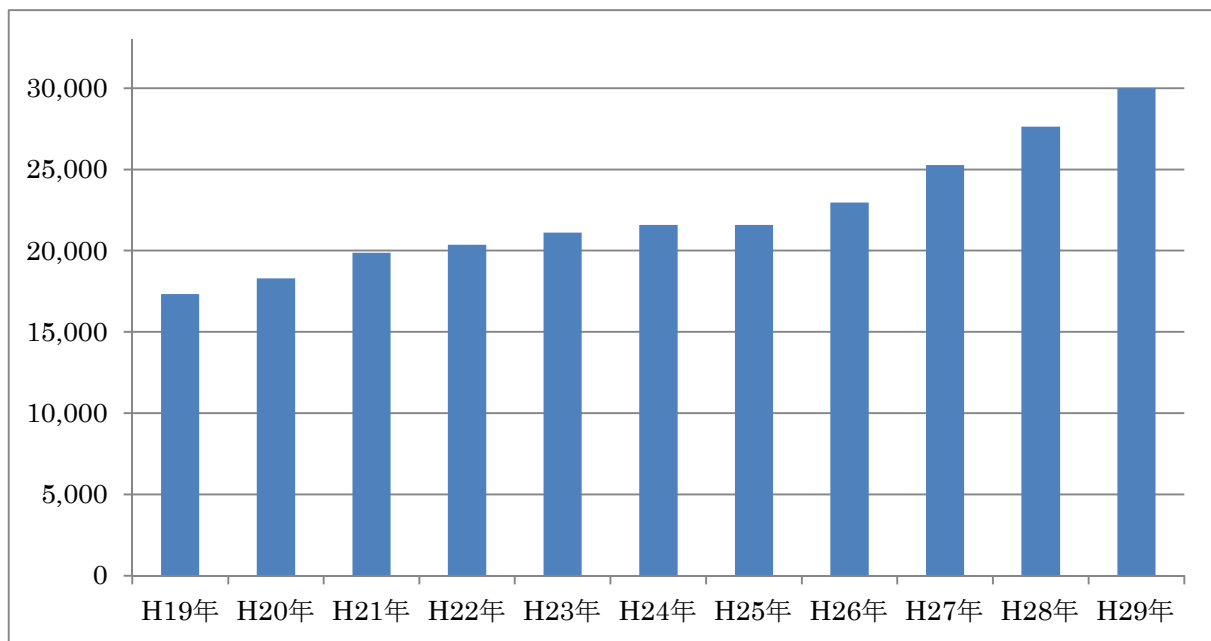
したがって、人口減少社会における労働力不足の解消や地方創生の観点から技能実習生向けの取り組みを進めることより、地域社会との共生を目的とした「技能実習生の多様性を活かしたまちづくり」の姿が見えてきます。

川口市における外国人住民の現状について
—平成 29 年 6 月 1 日現在の外国人住民統計—

1 川口市における外国人数の推移

統計年（1月1日）	全 人 口（人）	人数（人）	比 率（％）
平成 19 年	501,101	17,323	3.5
平成 20 年	505,802	18,282	3.6
平成 21 年	511,201	19,858	3.9
平成 22 年	515,038	20,362	4.0
平成 23 年	517,171	21,114	4.1
平成 24 年	579,021	21,578	3.7
平成 25 年	580,852	21,588	3.7
平成 26 年	583,989	22,958	3.9
平成 27 年	589,205	25,263	4.3
平成 28 年	592,684	27,641	4.7
平成 29 年	595,495	29,989	5.0

※平成 24 年 7 月に「住民基本台帳法の一部を改正する法律」が施行され、外国人登録法が廃止、新しい在留管理制度が整備されました。



【 参 考 】

統計年月日	全 人 口	人数（人）	比 率（％）
平成 29 年 6 月 1 日	597,773	31,550	5.28

2 川口市国籍別順位上位5ヵ国

順位	平成 29 年 6 月 1 日		
	国籍	人数（人）	比率（％）
1	中国	18,529	58.7
2	韓国	2,792	8.8
3	ベトナム	2,574	8.2
4	フィリピン	2,395	7.6
5	トルコ	1,186	3.8
	その他	4,074	12.9
	合計	31,550	100.0

3 川口市在留資格別

順位	平成 29 年 6 月 1 日		
	在留資格	人数（人）	比率（％）
1	永住者	9,752	30.9
2	家族滞在	4,062	12.9
3	技術・人文知識・国際業務	3,912	12.4
4	留学	3,777	12.0
5	定住者	1,872	5.9
6	特別永住者	1,530	4.8
7	特定活動	1,527	4.8
8	日本人の配偶者等	1,405	4.5
9	技能実習	1,036	3.3
10	永住者の配偶者等	807	2.6
11	技能	768	2.4
12	経営・管理	738	2.3
	その他	364	1.2
	合計	31,550	100.0

※平成 26 年の通常国会において「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が可決・成立し、平成 26 年 6 月に公布された改正法により、在留資格が整備されました。

4 地区別順位

順位	平成 29 年 6 月 1 日		
	地区	人数 (人)	比率 (%)
1	横曽根地区	9,716	30.8
2	芝地区	6,365	20.2
3	青木地区	4,580	14.5
4	中央地区	3,910	12.4
5	南平地区	2,342	7.4
6	鳩ヶ谷地区	1,269	4.0
7	戸塚地区	1,089	3.5
8	神根地区	952	3.0
9	新郷地区	787	2.5
10	安行地区	540	1.7
	合計	31,550	100.0

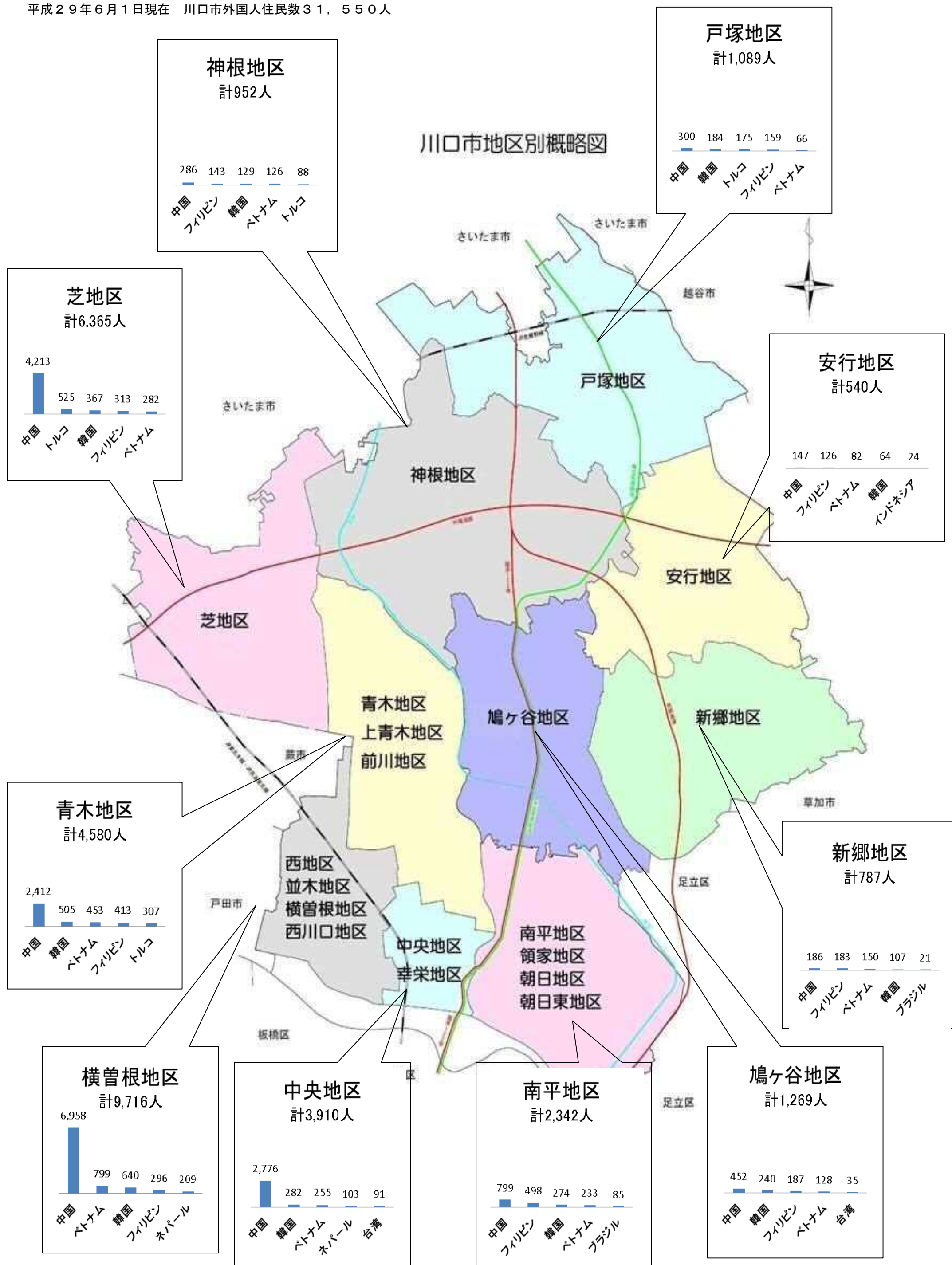
5 地区別兼国籍別順位上位 5 カ国

平成 29 年 6 月 1 日現在

横曽根地区		芝地区		青木地区		中央地区	
国籍	人数	国籍	人数	国籍	人数	国籍	人数
中国	6,958	中国	4,213	中国	2,412	中国	2,776
ベトナム	799	トルコ	525	韓国	505	韓国	282
韓国	640	韓国	367	ベトナム	453	ベトナム	255
フィリピン	296	フィリピン	313	フィリピン	413	ネパール	103
ネパール	209	ベトナム	282	トルコ	307	台湾	91
その他	814	その他	665	その他	490	その他	403
合計	9,716	合計	6,365	合計	4,580	合計	3,910

南平地区		鳩ヶ谷地区		戸塚地区		神根地区	
国籍	人数	国籍	人数	国籍	人数	国籍	人数
中国	799	中国	452	中国	300	中国	286
フィリピン	498	韓国	240	韓国	184	フィリピン	143
韓国	274	フィリピン	187	トルコ	175	韓国	129
ベトナム	233	ベトナム	128	フィリピン	159	ベトナム	126
ブラジル	85	台湾	35	ベトナム	66	トルコ	88
その他	453	その他	227	その他	205	その他	180
合計	2,342	合計	1,269	合計	1,089	合計	952

新郷地区		安行地区	
国籍	人数	国籍	人数
中国	186	中国	147
フィリピン	183	フィリピン	126
ベトナム	150	ベトナム	82
韓国	107	韓国	64
ブラジル	21	インドネシア	24
その他	140	その他	97
合計	787	合計	540



6 在留外国人総数上位 10 自治体

平成 28 年 12 月末現在
(法務省統計 (別表) 在留外国人総数上位 100 自治体 より)

順位	市区町村名	人数 (人)
1	東京都新宿区	42, 194
2	東京都江戸川区	31, 877
3	川口市	30, 369
4	東京都足立区	28, 059
5	大阪市生野区	27, 868
6	東京都豊島区	27, 651
7	東京都江東区	26, 934
8	東京都板橋区	23, 161
9	東京都大田区	22, 165
10	東京都港区	20, 271

川口市多文化共生社会のためのアンケート集計結果正誤表

下記のとおり、誤りがありましたので訂正します。

頁数	該当箇所	誤	正																																																																																																																														
全体	全体	表の項目【構成比】	表の項目【割合】																																																																																																																														
13	【在留資格】	<table> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="3">平成28年度</th></tr> <tr> <th>在留資格</th><th>人数</th><th>構成比</th></tr> <tr><td>1</td><td>永住者</td><td>399</td><td>42.2%</td></tr> <tr><td>2</td><td>家族滞在</td><td>152</td><td>16.1%</td></tr> <tr><td>3</td><td>技術・人文知識・国際業務</td><td>105</td><td>11.1%</td></tr> <tr><td>4</td><td>定住者</td><td>64</td><td>6.8%</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本人の配偶者等</td><td>37</td><td>3.9%</td></tr> <tr><td>6</td><td>経営・管理</td><td>34</td><td><u>3.5%</u></td></tr> <tr><td>7</td><td>留学</td><td>32</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>8</td><td>技能</td><td>31</td><td><u>3.2%</u></td></tr> <tr><td>9</td><td>永住者の配偶者等</td><td>26</td><td>2.7%</td></tr> <tr><td>10</td><td>技能実習</td><td>14</td><td>1.5%</td></tr> <tr><td>11</td><td>特定活動</td><td>10</td><td>1.1%</td></tr> <tr><td>12</td><td>特別永住者</td><td>5</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>13</td><td>その他</td><td>9</td><td><u>0.9%</u></td></tr> <tr><td>14</td><td>無回答</td><td>28</td><td><u>2.9%</u></td></tr> </table>		平成28年度			在留資格	人数	構成比	1	永住者	399	42.2%	2	家族滞在	152	16.1%	3	技術・人文知識・国際業務	105	11.1%	4	定住者	64	6.8%	5	日本人の配偶者等	37	3.9%	6	経営・管理	34	<u>3.5%</u>	7	留学	32	3.4%	8	技能	31	<u>3.2%</u>	9	永住者の配偶者等	26	2.7%	10	技能実習	14	1.5%	11	特定活動	10	1.1%	12	特別永住者	5	0.5%	13	その他	9	<u>0.9%</u>	14	無回答	28	<u>2.9%</u>	<table> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="3">平成28年度</th></tr> <tr> <th>在留資格</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>1</td><td>永住者</td><td>399</td><td>42.2%</td></tr> <tr><td>2</td><td>家族滞在</td><td>152</td><td>16.1%</td></tr> <tr><td>3</td><td>技術・人文知識・国際業務</td><td>105</td><td>11.1%</td></tr> <tr><td>4</td><td>定住者</td><td>64</td><td>6.8%</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本人の配偶者等</td><td>37</td><td>3.9%</td></tr> <tr><td>6</td><td>経営・管理</td><td>34</td><td><u>3.6%</u></td></tr> <tr><td>7</td><td>留学</td><td>32</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>8</td><td>技能</td><td>31</td><td><u>3.3%</u></td></tr> <tr><td>9</td><td>永住者の配偶者等</td><td>26</td><td>2.7%</td></tr> <tr><td>10</td><td>技能実習</td><td>14</td><td>1.5%</td></tr> <tr><td>11</td><td>特定活動</td><td>10</td><td>1.1%</td></tr> <tr><td>12</td><td>特別永住者</td><td>5</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>13</td><td>その他</td><td>9</td><td><u>1.0%</u></td></tr> <tr><td>14</td><td>無回答</td><td>28</td><td><u>3.0%</u></td></tr> </table> ※同様にグラフも訂正しています。		平成28年度			在留資格	人数	割合	1	永住者	399	42.2%	2	家族滞在	152	16.1%	3	技術・人文知識・国際業務	105	11.1%	4	定住者	64	6.8%	5	日本人の配偶者等	37	3.9%	6	経営・管理	34	<u>3.6%</u>	7	留学	32	3.4%	8	技能	31	<u>3.3%</u>	9	永住者の配偶者等	26	2.7%	10	技能実習	14	1.5%	11	特定活動	10	1.1%	12	特別永住者	5	0.5%	13	その他	9	<u>1.0%</u>	14	無回答	28	<u>3.0%</u>
	平成28年度																																																																																																																																
	在留資格	人数	構成比																																																																																																																														
1	永住者	399	42.2%																																																																																																																														
2	家族滞在	152	16.1%																																																																																																																														
3	技術・人文知識・国際業務	105	11.1%																																																																																																																														
4	定住者	64	6.8%																																																																																																																														
5	日本人の配偶者等	37	3.9%																																																																																																																														
6	経営・管理	34	<u>3.5%</u>																																																																																																																														
7	留学	32	3.4%																																																																																																																														
8	技能	31	<u>3.2%</u>																																																																																																																														
9	永住者の配偶者等	26	2.7%																																																																																																																														
10	技能実習	14	1.5%																																																																																																																														
11	特定活動	10	1.1%																																																																																																																														
12	特別永住者	5	0.5%																																																																																																																														
13	その他	9	<u>0.9%</u>																																																																																																																														
14	無回答	28	<u>2.9%</u>																																																																																																																														
	平成28年度																																																																																																																																
	在留資格	人数	割合																																																																																																																														
1	永住者	399	42.2%																																																																																																																														
2	家族滞在	152	16.1%																																																																																																																														
3	技術・人文知識・国際業務	105	11.1%																																																																																																																														
4	定住者	64	6.8%																																																																																																																														
5	日本人の配偶者等	37	3.9%																																																																																																																														
6	経営・管理	34	<u>3.6%</u>																																																																																																																														
7	留学	32	3.4%																																																																																																																														
8	技能	31	<u>3.3%</u>																																																																																																																														
9	永住者の配偶者等	26	2.7%																																																																																																																														
10	技能実習	14	1.5%																																																																																																																														
11	特定活動	10	1.1%																																																																																																																														
12	特別永住者	5	0.5%																																																																																																																														
13	その他	9	<u>1.0%</u>																																																																																																																														
14	無回答	28	<u>3.0%</u>																																																																																																																														

14	【住んでいる期間】	(1) 日本で暮らした合計年数 平均 <u>11</u> 年 5 ヶ月 (2) 川口市に住んでいる年数 平均 <u>7</u> 年 5 ヶ月	(1) 日本で暮らした合計年数 平均 <u>10</u> 年 <u>11</u> ヶ月 (2) 川口市に住んでいる年数 平均 <u>6</u> 年 <u>5</u> ヶ月																																																																					
	【住んでいる家】	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">平成28年度</th></tr><tr><th>選択肢</th><th>人数</th><th>構成比</th></tr><tr><td>1</td><td>賃貸</td><td>439</td><td>46.4%</td></tr><tr><td>2</td><td>持ち家</td><td><u>423</u></td><td>43.0%</td></tr><tr><td>3</td><td>市営・県営住宅</td><td>48</td><td>5.1%</td></tr><tr><td>4</td><td>勤務先の寮や社宅</td><td>31</td><td>3.3%</td></tr><tr><td>5</td><td>留学生会館・学生寮</td><td>4</td><td>0.4%</td></tr><tr><td>6</td><td>その他</td><td>4</td><td>0.4%</td></tr><tr><td>7</td><td>無回答</td><td>13</td><td>1.4%</td></tr></table>		平成28年度			選択肢	人数	構成比	1	賃貸	439	46.4%	2	持ち家	<u>423</u>	43.0%	3	市営・県営住宅	48	5.1%	4	勤務先の寮や社宅	31	3.3%	5	留学生会館・学生寮	4	0.4%	6	その他	4	0.4%	7	無回答	13	1.4%	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">平成28年度</th></tr><tr><th>選択肢</th><th>人数</th><th>割合</th></tr><tr><td>1</td><td>賃貸</td><td>439</td><td>46.4%</td></tr><tr><td>2</td><td>持ち家</td><td><u>407</u></td><td>43.0%</td></tr><tr><td>3</td><td>市営・県営住宅</td><td>48</td><td>5.1%</td></tr><tr><td>4</td><td>勤務先の寮や社宅</td><td>31</td><td>3.3%</td></tr><tr><td>5</td><td>留学生会館・学生寮</td><td>4</td><td>0.4%</td></tr><tr><td>6</td><td>その他</td><td>4</td><td>0.4%</td></tr><tr><td>7</td><td>無回答</td><td>13</td><td>1.4%</td></tr></table>		平成28年度			選択肢	人数	割合	1	賃貸	439	46.4%	2	持ち家	<u>407</u>	43.0%	3	市営・県営住宅	48	5.1%	4	勤務先の寮や社宅	31	3.3%	5	留学生会館・学生寮	4	0.4%	6	その他	4	0.4%	7	無回答	13
	平成28年度																																																																							
	選択肢	人数	構成比																																																																					
1	賃貸	439	46.4%																																																																					
2	持ち家	<u>423</u>	43.0%																																																																					
3	市営・県営住宅	48	5.1%																																																																					
4	勤務先の寮や社宅	31	3.3%																																																																					
5	留学生会館・学生寮	4	0.4%																																																																					
6	その他	4	0.4%																																																																					
7	無回答	13	1.4%																																																																					
	平成28年度																																																																							
	選択肢	人数	割合																																																																					
1	賃貸	439	46.4%																																																																					
2	持ち家	<u>407</u>	43.0%																																																																					
3	市営・県営住宅	48	5.1%																																																																					
4	勤務先の寮や社宅	31	3.3%																																																																					
5	留学生会館・学生寮	4	0.4%																																																																					
6	その他	4	0.4%																																																																					
7	無回答	13	1.4%																																																																					
16	問2	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">平成28年度</th></tr><tr><th>選択肢</th><th>人数</th><th>構成比</th></tr><tr><td>1</td><td>今後も川口市に住み続ける</td><td>615</td><td>65.0%</td></tr><tr><td>2</td><td>わからない</td><td>216</td><td>22.8%</td></tr><tr><td>3</td><td>日本に住み続けるが、他市に転出するつもり</td><td>75</td><td>7.9%</td></tr><tr><td>4</td><td>いつかは自分の国へ帰る</td><td>25</td><td>2.6%</td></tr><tr><td>5</td><td>無回答</td><td><u>16</u></td><td>1.6%</td></tr><tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		平成28年度			選択肢	人数	構成比	1	今後も川口市に住み続ける	615	65.0%	2	わからない	216	22.8%	3	日本に住み続けるが、他市に転出するつもり	75	7.9%	4	いつかは自分の国へ帰る	25	2.6%	5	無回答	<u>16</u>	1.6%	6				<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">平成28年度</th></tr><tr><th>選択肢</th><th>人数</th><th>割合</th></tr><tr><td>1</td><td>今後も川口市に住み続ける</td><td>615</td><td>65.0%</td></tr><tr><td>2</td><td>わからない</td><td>216</td><td>22.8%</td></tr><tr><td>3</td><td>日本に住み続けるが、他市に転出するつもり</td><td>75</td><td>7.9%</td></tr><tr><td>4</td><td>いつかは自分の国へ帰る</td><td>25</td><td>2.6%</td></tr><tr><td>5</td><td>無回答</td><td><u>15</u></td><td>1.6%</td></tr><tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		平成28年度			選択肢	人数	割合	1	今後も川口市に住み続ける	615	65.0%	2	わからない	216	22.8%	3	日本に住み続けるが、他市に転出するつもり	75	7.9%	4	いつかは自分の国へ帰る	25	2.6%	5	無回答	<u>15</u>	1.6%	6										
				平成28年度																																																																				
選択肢	人数		構成比																																																																					
1	今後も川口市に住み続ける	615	65.0%																																																																					
2	わからない	216	22.8%																																																																					
3	日本に住み続けるが、他市に転出するつもり	75	7.9%																																																																					
4	いつかは自分の国へ帰る	25	2.6%																																																																					
5	無回答	<u>16</u>	1.6%																																																																					
6																																																																								
	平成28年度																																																																							
	選択肢	人数	割合																																																																					
1	今後も川口市に住み続ける	615	65.0%																																																																					
2	わからない	216	22.8%																																																																					
3	日本に住み続けるが、他市に転出するつもり	75	7.9%																																																																					
4	いつかは自分の国へ帰る	25	2.6%																																																																					
5	無回答	<u>15</u>	1.6%																																																																					
6																																																																								

21

問 6

全体（有効回答数：9 4 6 件）

	人数	構成比
回答あり	726	76.7%
無回答	220	23.3%

回答あり（回答数：7 2 6 件）

エ）書くこと

	人数	割合
①書ける	314	32.0%
②かんたんな文章なら書ける	265	27.0%
③ほとんど書けない	146	14.9%

全体（有効回答数：9 4 6 件）

	人数	割合
回答あり	725	76.6%
無回答	221	23.4%

※同様にグラフも訂正しています。

回答あり（回答数：7 2 5 件）

エ）書くこと

	人数	割合
①書ける	314	43.3%
②かんたんな文章なら書ける	265	36.6%
③ほとんど書けない	146	20.1%

※同様にグラフも訂正しています。

23

問 8

	平成 2 8 年度	
	人数	構成比
はい	693	73.3%
いいえ	199	21.3%
無回答	54	5.7%

	平成 2 8 年度	
	人数	割合
はい	693	73.3%
いいえ	199	21.0%
無回答	54	5.7%

26	問 8 - 3	<table> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="3">平成 2 8 年度 (6 9 3 人)</th></tr> <tr> <th>選択肢</th><th>人数</th><th>構成比</th></tr> <tr> <td>1</td><td>サービス業</td><td>195</td><td>28.1%</td></tr> <tr> <td colspan="4">⋮</td></tr> <tr> <td>9</td><td>その他</td><td>94</td><td>13.6%</td></tr> <tr> <td>10</td><td>無回答</td><td>19</td><td><u>2.0%</u></td></tr> </table>		平成 2 8 年度 (6 9 3 人)			選択肢	人数	構成比	1	サービス業	195	28.1%	⋮				9	その他	94	13.6%	10	無回答	19	<u>2.0%</u>	<table> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="3">平成 2 8 年度 (6 9 3 人)</th></tr> <tr> <th>選択肢</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr> <td>1</td><td>サービス業</td><td>195</td><td>28.1%</td></tr> <tr> <td colspan="4">⋮</td></tr> <tr> <td>9</td><td>その他</td><td>94</td><td>13.6%</td></tr> <tr> <td>10</td><td>無回答</td><td>19</td><td><u>2.7%</u></td></tr> </table> ※同様にグラフも訂正しています。		平成 2 8 年度 (6 9 3 人)			選択肢	人数	割合	1	サービス業	195	28.1%	⋮				9	その他	94	13.6%	10	無回答	19	<u>2.7%</u>																																										
	平成 2 8 年度 (6 9 3 人)																																																																																										
	選択肢	人数	構成比																																																																																								
1	サービス業	195	28.1%																																																																																								
⋮																																																																																											
9	その他	94	13.6%																																																																																								
10	無回答	19	<u>2.0%</u>																																																																																								
	平成 2 8 年度 (6 9 3 人)																																																																																										
	選択肢	人数	割合																																																																																								
1	サービス業	195	28.1%																																																																																								
⋮																																																																																											
9	その他	94	13.6%																																																																																								
10	無回答	19	<u>2.7%</u>																																																																																								
33	問 1 1 - 1	<table> <tr> <th></th><th>選択肢</th><th>人数</th><th>構成比</th></tr> <tr> <td>1</td><td>教育</td><td>303</td><td>51.4%</td></tr> <tr> <td>2</td><td>税金</td><td>292</td><td>49.5%</td></tr> <tr> <td>3</td><td>保険</td><td>243</td><td>41.2%</td></tr> <tr> <td>4</td><td>日本での生活マナー・ルール</td><td>213</td><td>36.1%</td></tr> <tr> <td>5</td><td>日本文化</td><td>183</td><td>31.0%</td></tr> <tr> <td>6</td><td>防災</td><td>174</td><td>29.5%</td></tr> <tr> <td>7</td><td>町会・自治会制度</td><td>92</td><td>15.6%</td></tr> <tr> <td>8</td><td>ごみの出し方</td><td>78</td><td>13.2%</td></tr> <tr> <td>9</td><td>その他</td><td>9</td><td>1.5%</td></tr> <tr> <td>10</td><td>無回答</td><td>9</td><td>1.5%</td></tr> </table>		選択肢	人数	構成比	1	教育	303	51.4%	2	税金	292	49.5%	3	保険	243	41.2%	4	日本での生活マナー・ルール	213	36.1%	5	日本文化	183	31.0%	6	防災	174	29.5%	7	町会・自治会制度	92	15.6%	8	ごみの出し方	78	13.2%	9	その他	9	1.5%	10	無回答	9	1.5%	<u>全体（有効回答数：5 9 0 件）</u> <table> <tr> <th></th><th>選択肢</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr> <td>1</td><td>教育</td><td>303</td><td>51.4%</td></tr> <tr> <td>2</td><td>税金</td><td>292</td><td>49.5%</td></tr> <tr> <td>3</td><td>保険</td><td>243</td><td>41.2%</td></tr> <tr> <td>4</td><td>日本での生活マナー・ルール</td><td>213</td><td>36.1%</td></tr> <tr> <td>5</td><td>日本文化</td><td>183</td><td>31.0%</td></tr> <tr> <td>6</td><td>防災</td><td>174</td><td>29.5%</td></tr> <tr> <td>7</td><td>町会・自治会制度</td><td>92</td><td>15.6%</td></tr> <tr> <td>8</td><td>ごみの出し方</td><td>78</td><td>13.2%</td></tr> <tr> <td>9</td><td>その他</td><td>9</td><td>1.5%</td></tr> <tr> <td>10</td><td>無回答</td><td>9</td><td>1.5%</td></tr> </table>		選択肢	人数	割合	1	教育	303	51.4%	2	税金	292	49.5%	3	保険	243	41.2%	4	日本での生活マナー・ルール	213	36.1%	5	日本文化	183	31.0%	6	防災	174	29.5%	7	町会・自治会制度	92	15.6%	8	ごみの出し方	78	13.2%	9	その他	9	1.5%	10	無回答	9	1.5%
	選択肢	人数	構成比																																																																																								
1	教育	303	51.4%																																																																																								
2	税金	292	49.5%																																																																																								
3	保険	243	41.2%																																																																																								
4	日本での生活マナー・ルール	213	36.1%																																																																																								
5	日本文化	183	31.0%																																																																																								
6	防災	174	29.5%																																																																																								
7	町会・自治会制度	92	15.6%																																																																																								
8	ごみの出し方	78	13.2%																																																																																								
9	その他	9	1.5%																																																																																								
10	無回答	9	1.5%																																																																																								
	選択肢	人数	割合																																																																																								
1	教育	303	51.4%																																																																																								
2	税金	292	49.5%																																																																																								
3	保険	243	41.2%																																																																																								
4	日本での生活マナー・ルール	213	36.1%																																																																																								
5	日本文化	183	31.0%																																																																																								
6	防災	174	29.5%																																																																																								
7	町会・自治会制度	92	15.6%																																																																																								
8	ごみの出し方	78	13.2%																																																																																								
9	その他	9	1.5%																																																																																								
10	無回答	9	1.5%																																																																																								

50	問 2 0 － 4	<table><tr><td></td><td colspan="3">平成 2 8 年度 (6 0 8 人)</td></tr><tr><td></td><td>選択肢</td><td>人数</td><td>構成比</td></tr><tr><td>1</td><td>特に困ったことがない</td><td>254</td><td>41. 8%</td></tr><tr><td colspan="4">⋮</td></tr><tr><td>8</td><td>無回答</td><td>29</td><td><u>4. 7%</u></td></tr></table>		平成 2 8 年度 (6 0 8 人)				選択肢	人数	構成比	1	特に困ったことがない	254	41. 8%	⋮				8	無回答	29	<u>4. 7%</u>	<table><tr><td></td><td colspan="3">平成 2 8 年度 (6 0 8 人)</td></tr><tr><td></td><td>選択肢</td><td>人数</td><td>割合</td></tr><tr><td>1</td><td>特に困ったことがない</td><td>254</td><td>41. 8%</td></tr><tr><td colspan="4">⋮</td></tr><tr><td>8</td><td>無回答</td><td>29</td><td><u>4. 8%</u></td></tr></table> ※同様にグラフも訂正しています。		平成 2 8 年度 (6 0 8 人)				選択肢	人数	割合	1	特に困ったことがない	254	41. 8%	⋮				8	無回答	29	<u>4. 8%</u>
	平成 2 8 年度 (6 0 8 人)																																										
	選択肢	人数	構成比																																								
1	特に困ったことがない	254	41. 8%																																								
⋮																																											
8	無回答	29	<u>4. 7%</u>																																								
	平成 2 8 年度 (6 0 8 人)																																										
	選択肢	人数	割合																																								
1	特に困ったことがない	254	41. 8%																																								
⋮																																											
8	無回答	29	<u>4. 8%</u>																																								

川口市多文化共生社会のためのアンケート集計結果

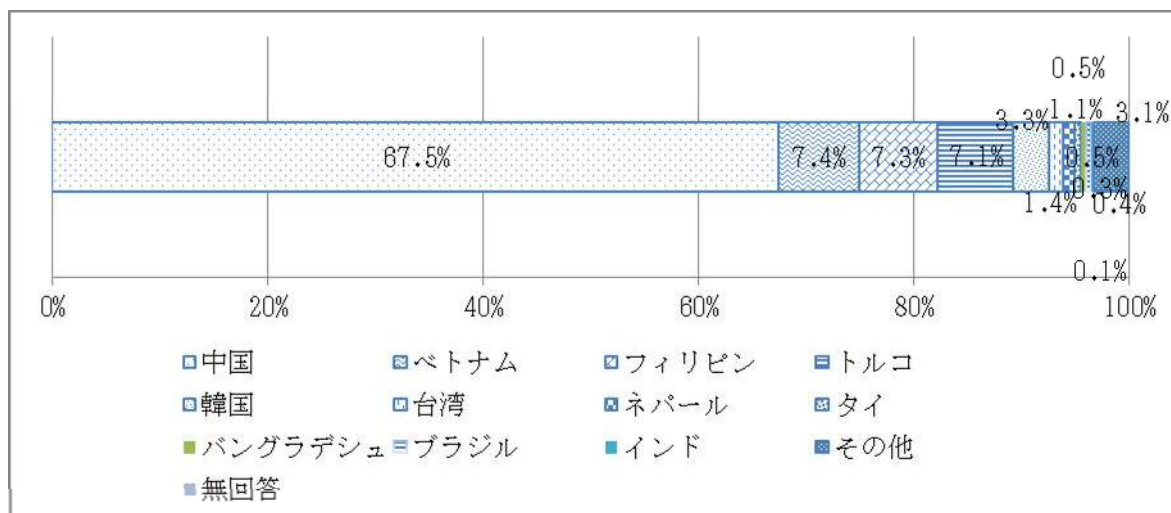
有効回答数 平成28年度：946件

平成25年度：812件

1 あなたのことについて

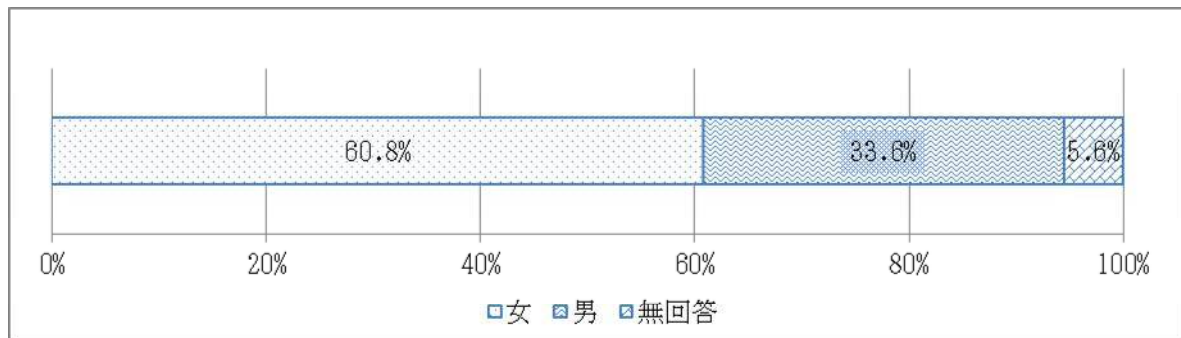
【国籍・地域】

	平成28年度			平成25年度	
	国籍・地域	人数	割合	国籍・地域	割合
1	中国	639	67.5%	中国	66.5%
2	ベトナム	70	7.4%	フィリピン	7.9%
3	フィリピン	69	7.3%	韓国又は朝鮮	6.4%
4	トルコ	67	7.1%	トルコ	6.3%
5	韓国	31	3.3%	台湾	2.8%
6	台湾	13	1.4%	ベトナム	2.1%
7	ネパール	10	1.1%		
8	タイ	5	0.5%		
9	バングラデシュ	5	0.5%		
10	ブラジル	4	0.4%		
11	インド	3	0.3%		
12	その他	29	3.1%	その他	8.0%
13	無回答	1	0.1%		



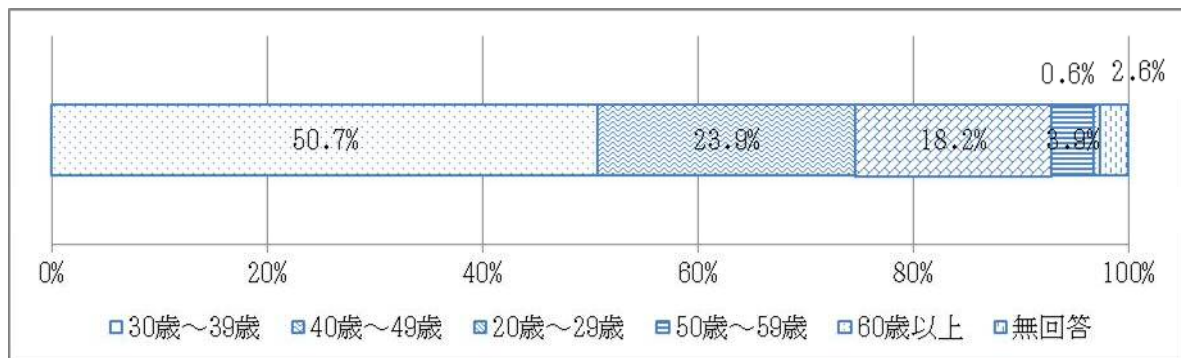
【性別】

	平成 2 8 年度		平成 2 5 年度
	人数	割合	割合
女	575	60.8%	60.3%
男	318	33.6%	39.2%
無回答	53	5.6%	0.9%



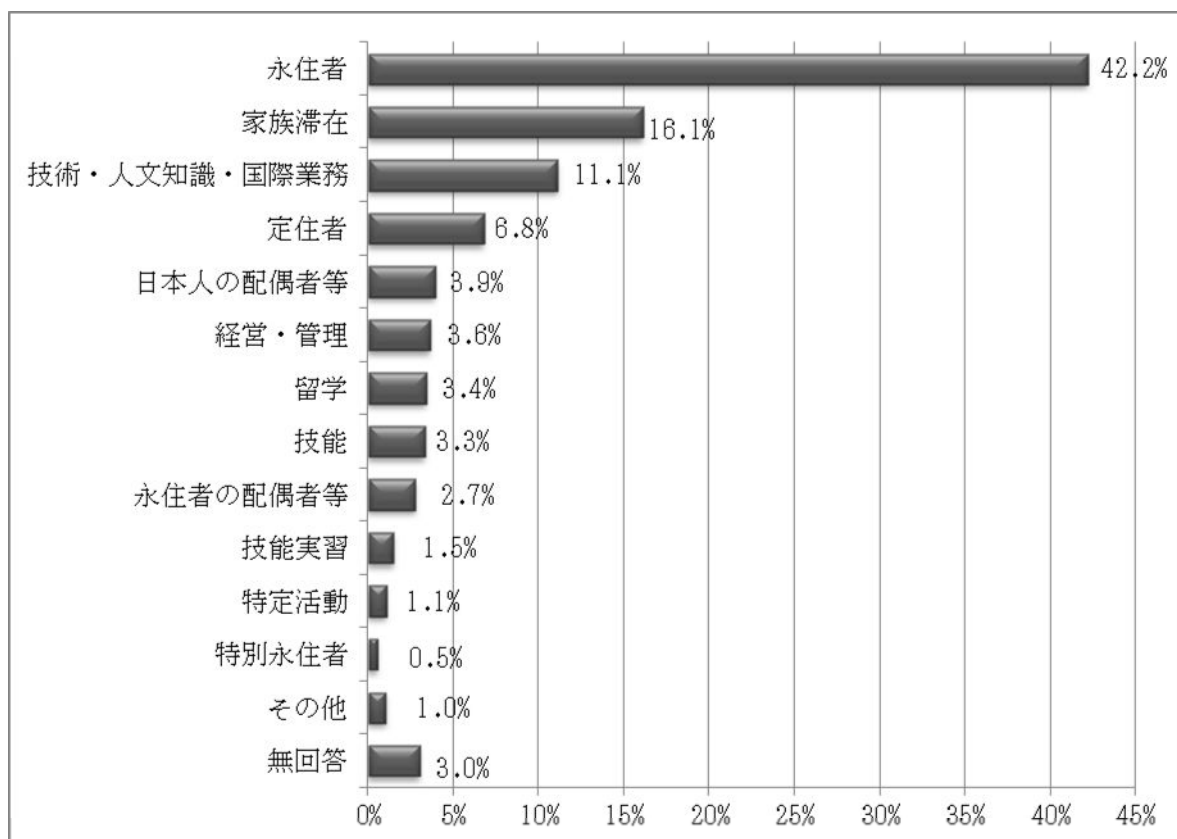
【年齢】

	平成 2 8 年度			平成 2 5 年度	
	年齢	人数	割合	年齢	割合
1	30 歳～39 歳	480	50.7%	30 歳～39 歳	39.9%
2	40 歳～49 歳	226	23.9%	20 歳～29 歳	31.4%
3	20 歳～29 歳	172	18.2%	40 歳～49 歳	17.9%
4	50 歳～59 歳	37	3.9%	50 歳～59 歳	6.7%
5	60 歳以上	6	0.6%	19 歳以下	2.2%
6				60 歳以上	1.2%
7	無回答	25	2.6%	無回答	0.7%



【在留資格】

	平成 2 8 年度			平成 2 5 年度	
	在留資格	人数	割合	在留資格	割合
1	永住者	399	42.2%	永住者	26.9%
2	家族滞在	152	16.1%	家族滞在	13.1%
3	技術・人文知識・国際業務	105	11.1%	技術	12.7%
4	定住者	64	6.8%	留学	10.3%
5	日本人の配偶者等	37	3.9%	日本人の配偶者等	8.7%
6	経営・管理	34	3.6%	人文知識・国際業務	7.3%
7	留学	32	3.4%	定住者	6.4%
8	技能	31	3.3%	永住者の配偶者等	3.2%
9	永住者の配偶者等	26	2.7%	短期滞在	1.0%
10	技能実習	14	1.5%	研修	0.7%
11	特定活動	10	1.1%	特別永住者	0.5%
12	特別永住者	5	0.5%	教育	0.2%
13	その他	9	1.0%	その他	8.4%
14	無回答	28	3.0%	無回答	0.6%



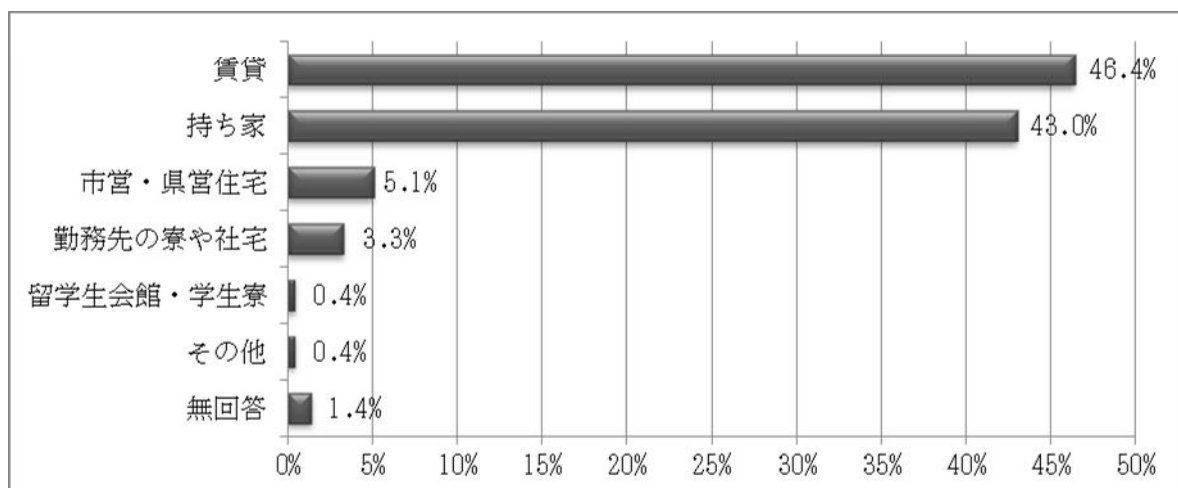
※平成 2 6 年の通常国会において「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が可決・成立し、平成 2 6 年 6 月に公布された改正法により整備されました。

【住んでいる期間】

- (1) 日本で暮らした合計年数 平均 約 10 年 11 ヶ月
 (2) 川口市に住んでいる年数 平均 約 6 年 5 ヶ月

【住んでいる家】

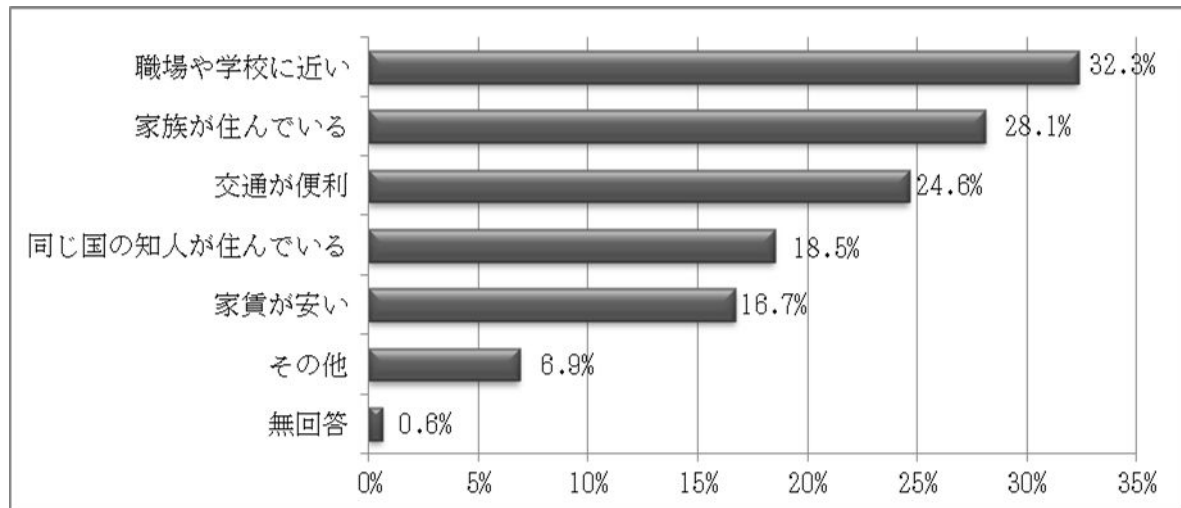
	平成 2 8 年度			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	賃貸	439	46.4%	民間の共同住宅	38.7%
2	持ち家	407	43.0%	持ち家 (マンション・一戸建て)	26.7%
3	市営・県営住宅	48	5.1%	公営の共同住宅	22.8%
4	勤務先の寮や社宅	31	3.3%	寮・社宅	5.4%
5	留学生会館・学生寮	4	0.4%	その他	4.6%
6	その他	4	0.4%		
7	無回答	13	1.4%	無回答	1.8%



2 川口市での暮らしについて

問1 あなたが、川口市に住む理由は何ですか。(〇はいくつでも)

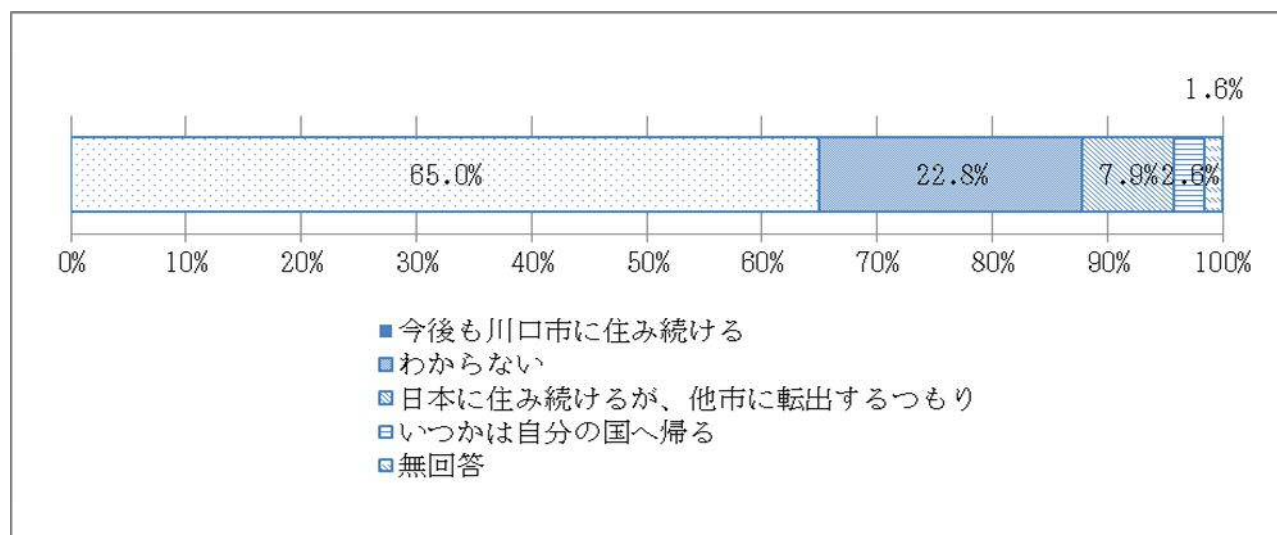
	平成28年度			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	職場や学校に近い	306	32.3%	交通が便利	25.9%
2	家族が住んでいる	266	28.1%	同じ国の知人が住んでいる	25.7%
3	交通が便利	233	24.6%	職場や学校に近い	25.0%
4	同じ国の知人が住んでいる	175	18.5%	知人友人から紹介された	20.1%
5	家賃が安い	158	16.7%	日本人の知人が住んでいる	6.5%
6	その他	65	6.9%	その他	14.4%
7	無回答	6	0.6%	無回答	1.4%



問2 今後、川口市に住み続ける予定ですか。(○は1つだけ)

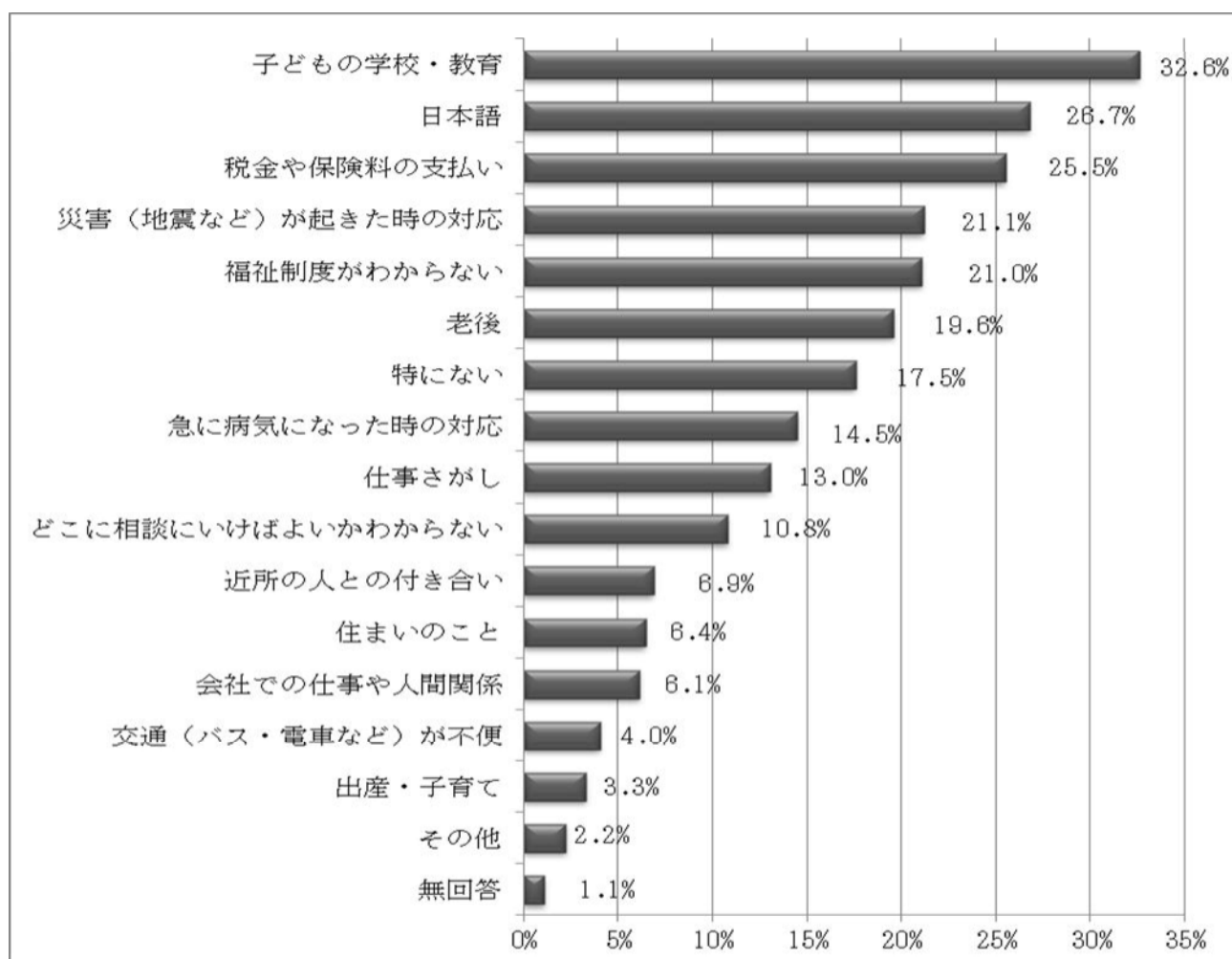
(※前回質問：川口市にどのくらい住む予定ですか。)

	平成28年度			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	今後も川口市に住み続ける	615	65.0%	今後とも川口市に住み続けるつもり	44.8%
2	わからない	216	22.8%	わからない	29.1%
3	日本に住み続けるが、他市に転出するつもり	75	7.9%	日本に住み続けるが、他市に転出するつもり	14.4%
4	いつかは自分の国へ帰る	25	2.6%	いつかは自分の国へ帰る	7.1%
5	無回答	15	1.6%	2～3年以内に自分の国へ帰る	3.1%
6				無回答	1.5%



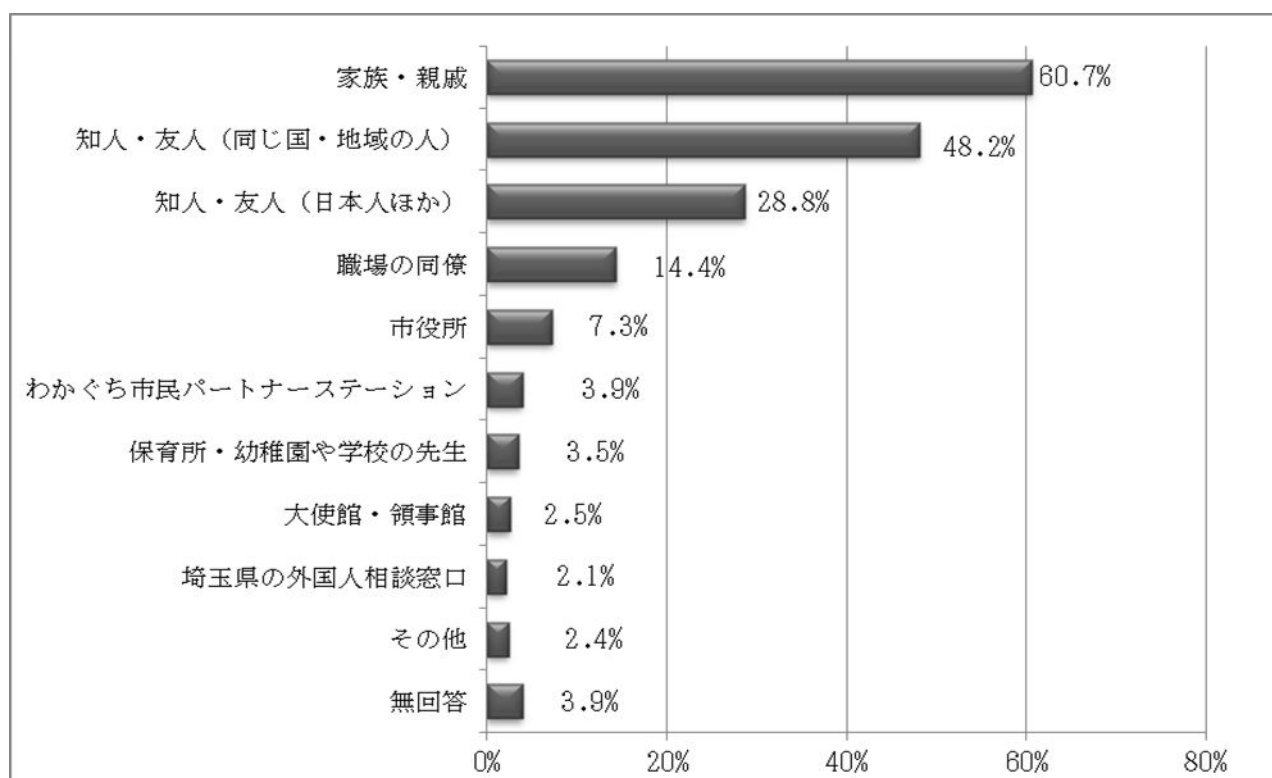
問3 あなたが、普段の生活で困っていることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

	平成28年度			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	子どもの学校・教育	308	32.6%	税金や保険料の支払い	27.3%
2	日本語	253	26.7%	子どもの学校・教育	24.5%
3	税金や保険料の支払い	241	25.5%	日本語	22.7%
4	災害が起きた時の対応	200	21.1%	災害が起きた時の対応	20.4%
5	福祉制度がわからない	199	21.0%	特になし	17.7%
6	老後	185	19.6%	仕事さがし	17.5%
7	特になし	166	17.5%	急に病気になった時の対応	16.4%
8	急に病気になった時の対応	137	14.5%	住まいのこと	10.0%
9	仕事さがし	123	13.0%	どこに相談にいけばよいか わからない	9.5%
10	どこに相談にいけばよいか わからない	102	10.8%	近所の人との付き合い	9.1%
11	近所の人との付き合い	65	6.9%	会社での仕事や人間関係	8.6%
12	住まいのこと	61	6.4%	出産・子育て	7.5%
13	会社での仕事や人間関係	58	6.1%	交通（バス・電車など）が不便	4.8%
14	交通（バス・電車など）が不便	38	4.0%	その他・無回答	4.8%
15	出産・子育て	31	3.3%	無回答	2.5%
16	その他	21	2.2%		
17	無回答	10	1.1%		



問4 あなたが、生活で困ったときに誰に相談しますか。(〇はいくつでも)：新規質問

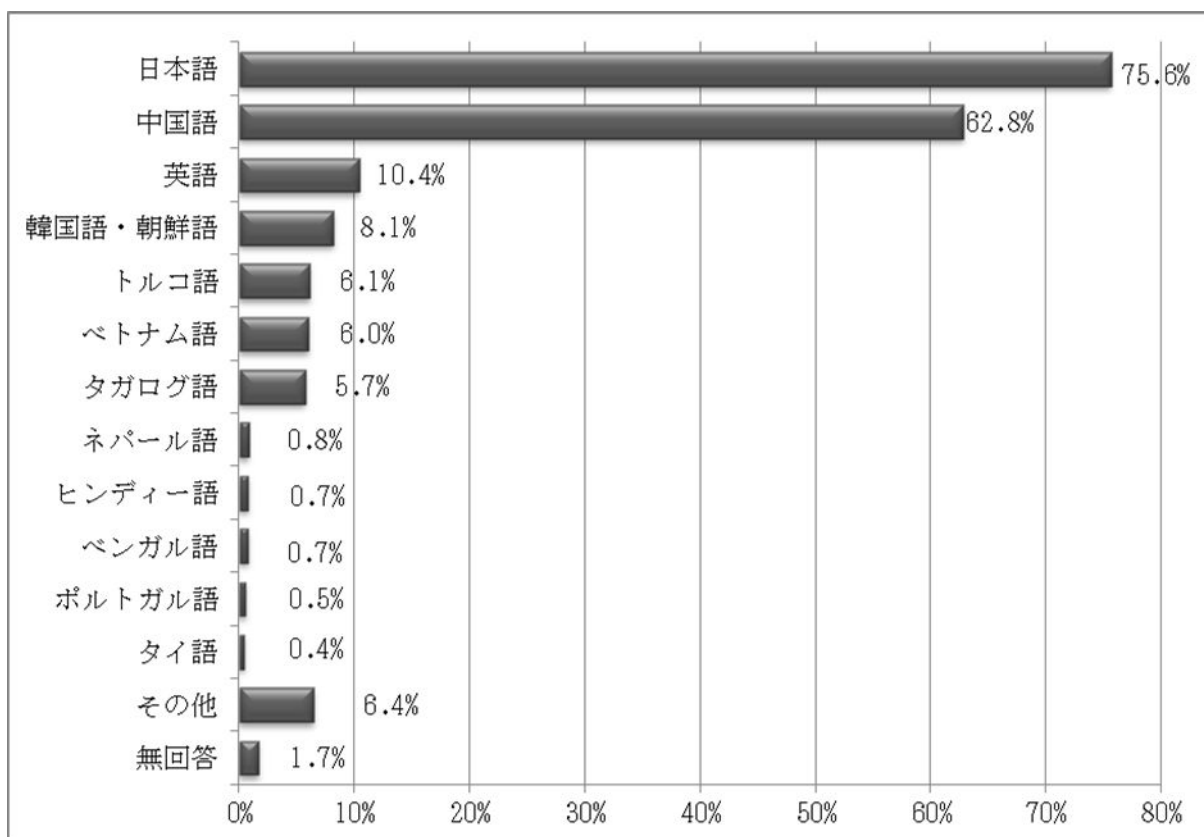
	選択肢	人数	割合
1	家族・親類	574	60.7%
2	知人・友人(同じ国・地域の人)	456	48.2%
3	知人・友人(日本人ほか)	272	28.8%
4	職場の同僚	136	14.4%
5	市役所	69	7.3%
6	かわぐち市民パートナーステーション	37	3.9%
7	保育所・幼稚園や学校の先生	33	3.5%
8	大使館・領事館	24	2.5%
9	埼玉県の外国人相談窓口	20	2.1%
10	その他	23	2.4%
11	無回答	37	3.9%



3 ことばについて

問5 あなたが、普段の生活で、よく使うことばはどれですか。(〇はいくつでも)

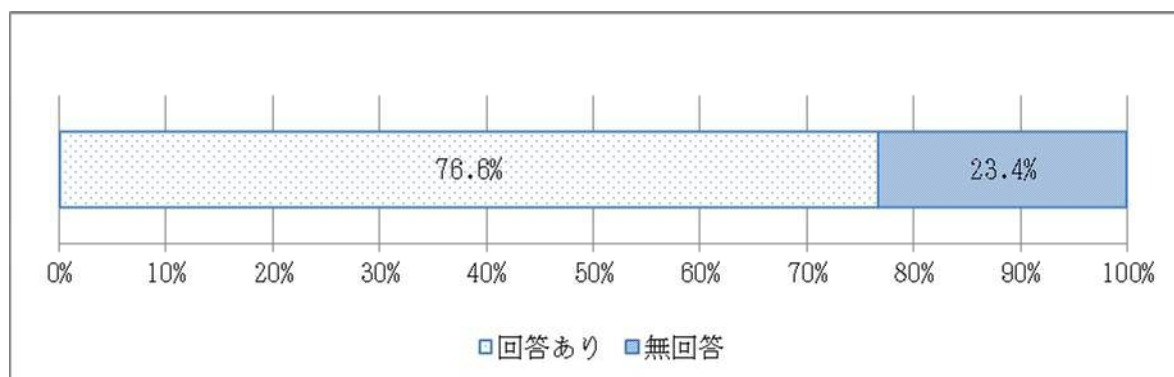
	平成28年度			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	日本語	715	75.6%	日本語	76.6%
2	中国語	594	62.8%	中国語	60.7%
3	英語	98	10.4%	韓国語	13.4%
4	韓国語・朝鮮語	77	8.1%	英語	10.6%
5	トルコ語	58	6.1%	タガログ語	5.3%
6	ベトナム語	57	6.0%	スペイン語	0.9%
7	タガログ語	54	5.7%	ポルトガル語	0.4%
8	ネパール語	8	0.8%		
9	ベンガル語	7	0.7%		
	ヒンディー語	7	0.7%		
11	ポルトガル語	5	0.5%		
12	タイ語	4	0.4%		
13	その他	61	6.4%	その他	8.4%
14	無回答	16	1.7%	無回答	1.0%



問6 あなたは、日本語がどれくらいわかりますか。(ア～エの項目は○1つだけ)

全体 (有効回答数：946件)

	人数	割合
回答あり	725	76.6%
無回答	221	23.4%



回答あり (回答数：725件)

ア) 聞くこと

	人数	割合
①聞きとれる	486	67.0%
②ゆっくりなら聞きとれる	199	27.4%
③ほとんどわからない	40	5.5%

イ) 話すこと

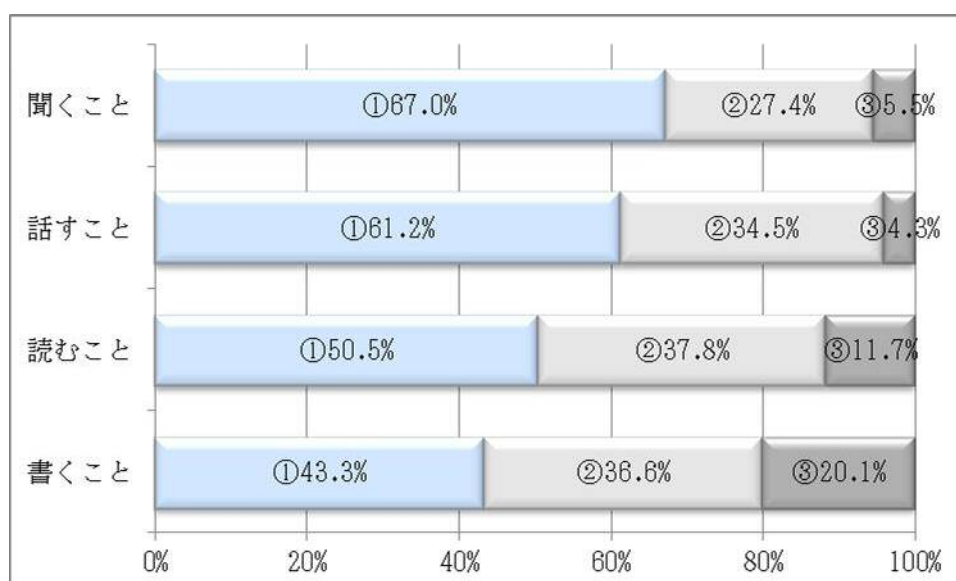
	人数	割合
①話せる	444	61.2%
②すこしなら話せる	250	34.5%
③ほとんど話せない	31	4.3%

ウ) 読むこと

	人数	割合
①読める	366	50.5%
②かんたんな文章なら読める	274	37.8%
③ほとんど読めない	85	11.7%

エ) 書くこと

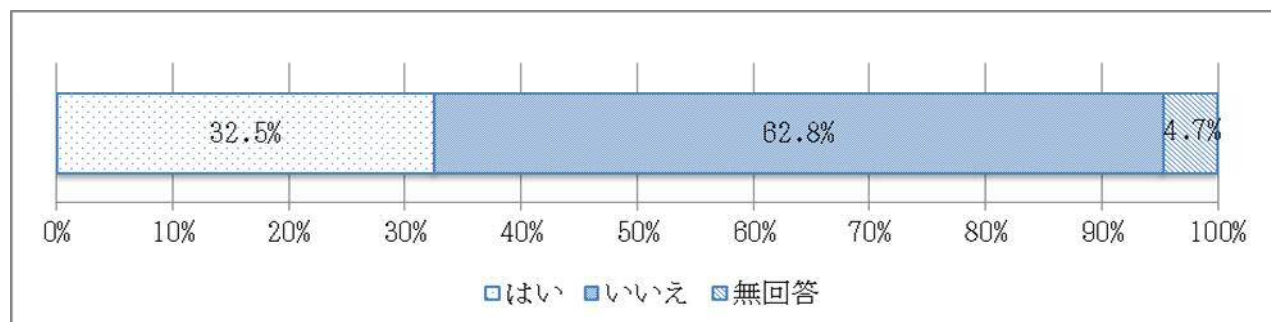
	人数	割合
①書ける	314	43.3%
②かんたんな文章なら書ける	265	36.6%
③ほとんど書けない	146	20.1%



問 7 あなたは自分自身の日本語が充分だと思いますか。：新規質問

全体（有効回答数：946件）

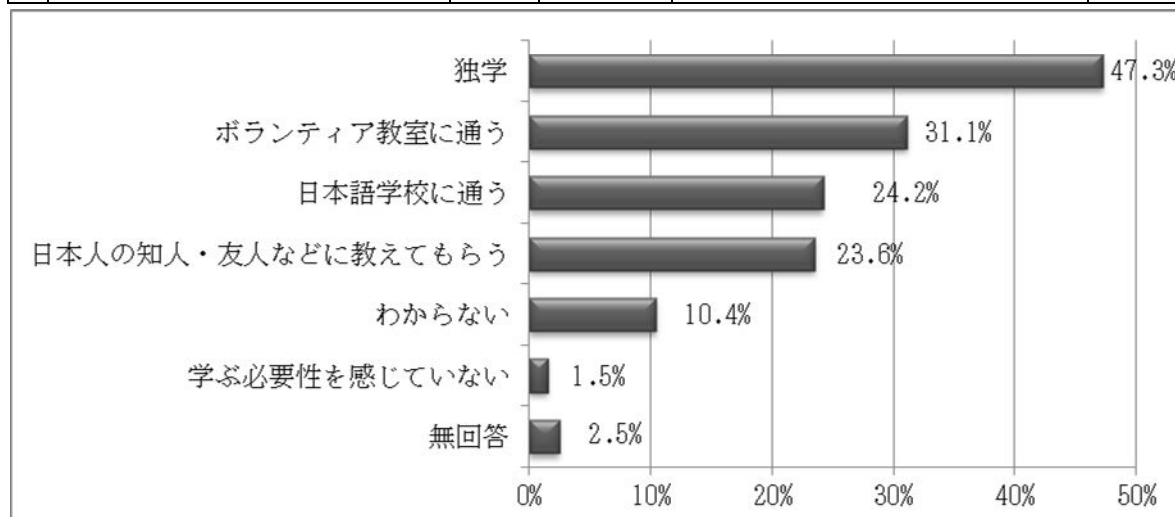
	人数	割合
①はい	307	32.5%
②いいえ	594	62.8%
無回答	45	4.7%



問 7－1 問 7 で 2 番をえらんだ人にお聞きします。どのように日本語を勉強したいと思いますか。（〇はいくつでも）

（※前回質問：現在及び今後の日本語の学び方についてお聞きします。）

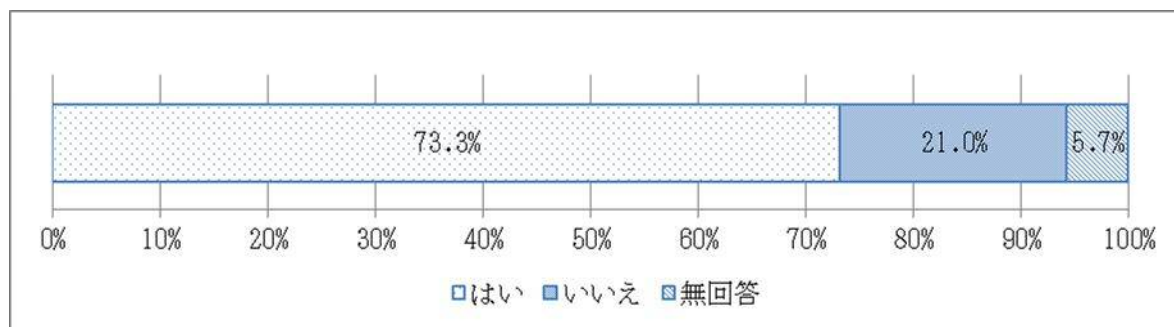
	平成 2 8 年度 (594人)			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	独学	281	47.3%	独学	48.6%
2	ボランティア教室に通う	185	31.1%	日本語教室に通う	33.9%
3	日本語学校に通う	144	24.2%	日本人の知人・友人などに教えてもらう	22.5%
4	日本人の知人・友人などに教えてもらう	140	23.6%	学びたいがその方法がわからない	9.2%
5	わからない	62	10.4%		
6	学ぶ必要性を感じていない	9	1.5%	不明	4.4%
7	無回答	15	2.5%	無回答	5.3%



4 あなたの仕事について

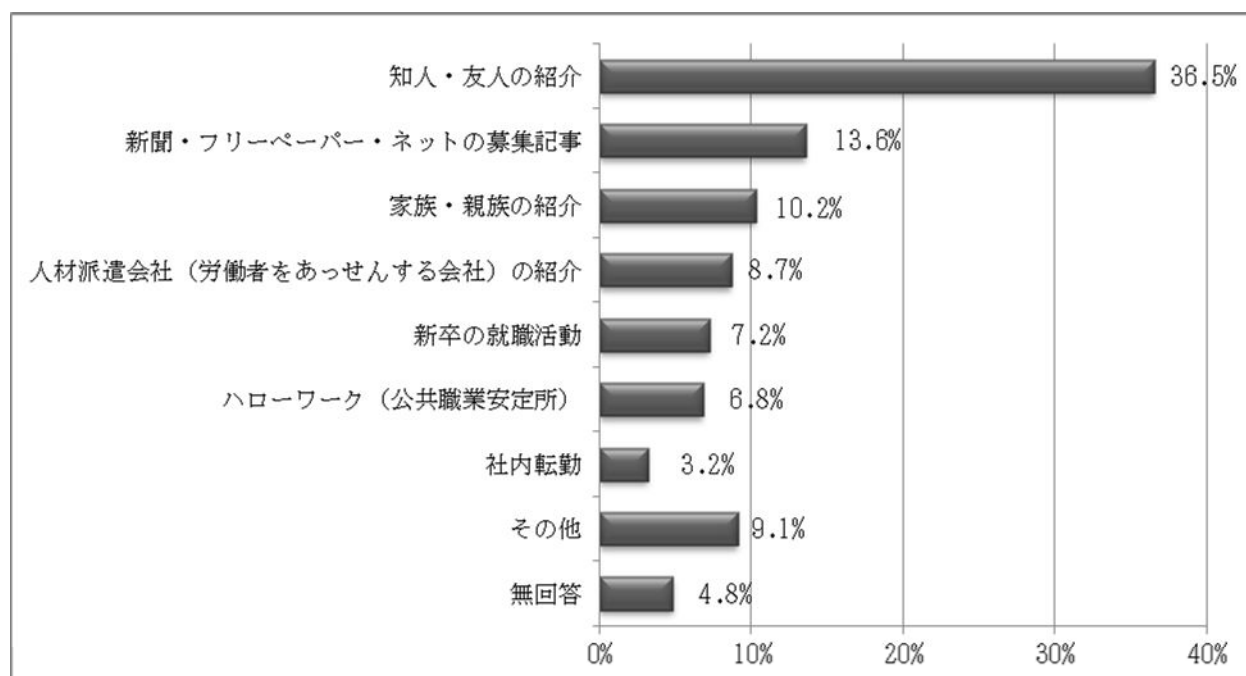
問8 あなたは、現在働いていますか。

	平成28年度		平成25年度
	人数	割合	割合
はい	693	73.3%	72.0%
いいえ	199	21.0%	26.5%
無回答	54	5.7%	1.5%



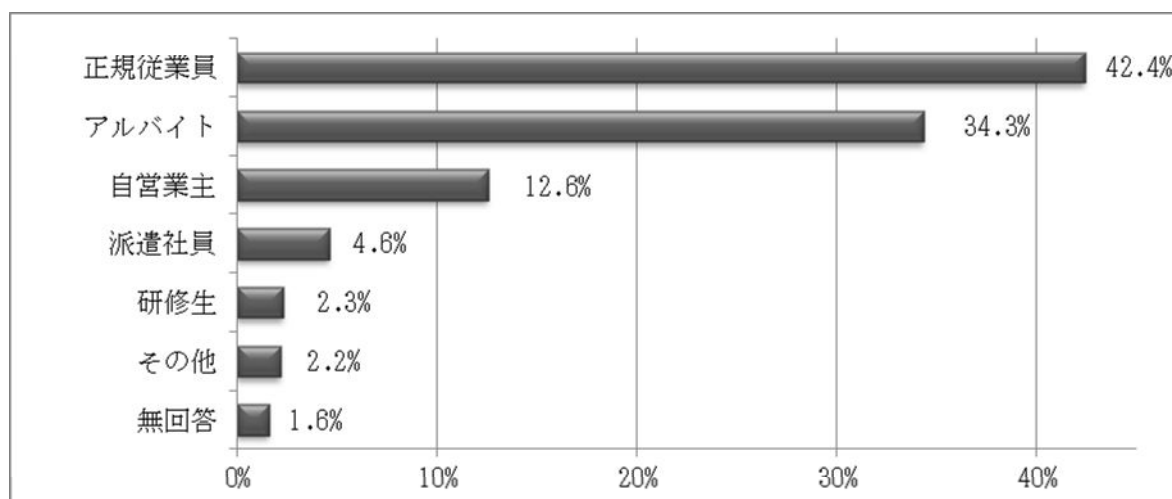
問 8－1 今の仕事をどうやって見つけましたか。(○は1つだけ)

	平成 2 8 年度 (6 9 3 人)			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	知人・友人の紹介	253	36.5%	知人・友人の紹介	47.3%
2	新聞・フリーペーパー・ネットの募集記事	94	13.6%	新聞・フリーペーパー・ネットの募集記事	11.8%
3	家族・親族の紹介	71	10.2%	家族・親族の紹介	8.4%
4	人材派遣会社（労働者をあっせんする会社）の紹介	60	8.7%	人材派遣会社（労働者をあっせんする会社）の紹介	7.2%
5	新卒の就職活動	50	7.2%	ハローワーク（公共職業安定所）	7.0%
6	ハローワーク（公共職業安定所）	47	6.8%		
7	社内転勤	22	3.2%		
8	その他	63	9.1%	その他	1.5%
9	無回答	33	4.8%	無回答	2.6%



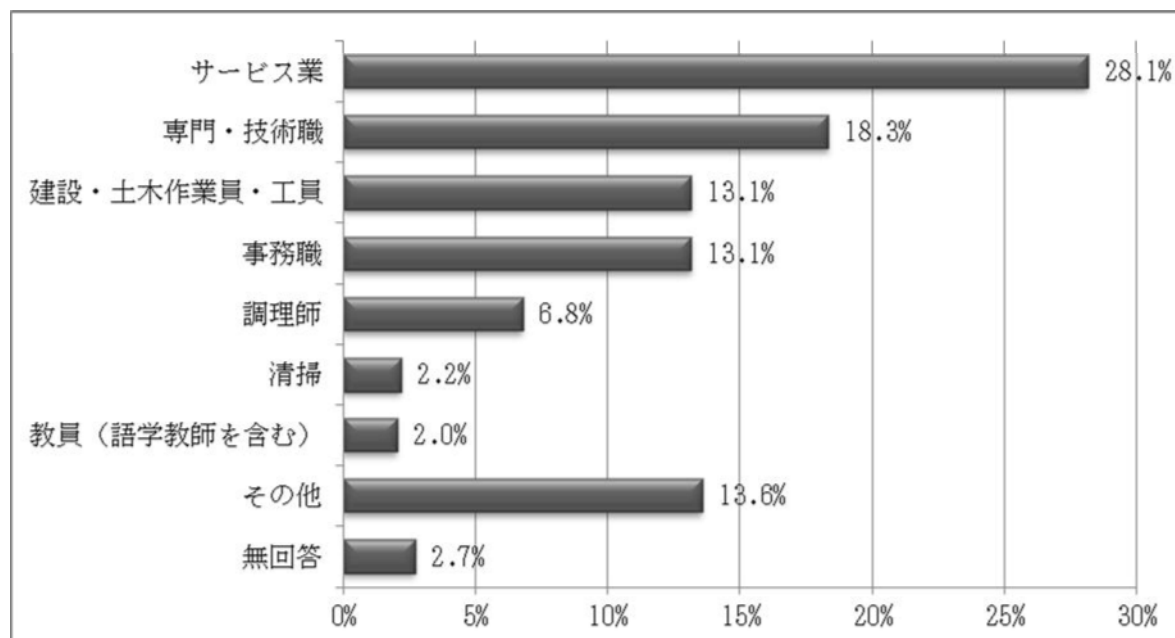
問 8－2 あなたは、どのような立場で働いていますか。(○は1つだけ)

	平成 2 8 年度 (6 9 3 人)			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	正規従業員	294	42.4%	アルバイト	40.6%
2	アルバイト	238	34.3%	正規従業員	38.8%
3	自営業主	87	12.6%	派遣社員	8.5%
4	派遣社員	32	4.6%	自営業主	8.0%
5	研修生	16	2.3%	研修生	1.0%
6	その他	15	2.2%	その他	1.7%
7	無回答	11	1.6%	無回答	1.4%



問 8－3 あなたの職業の種類は何ですか。(○は1つだけ)

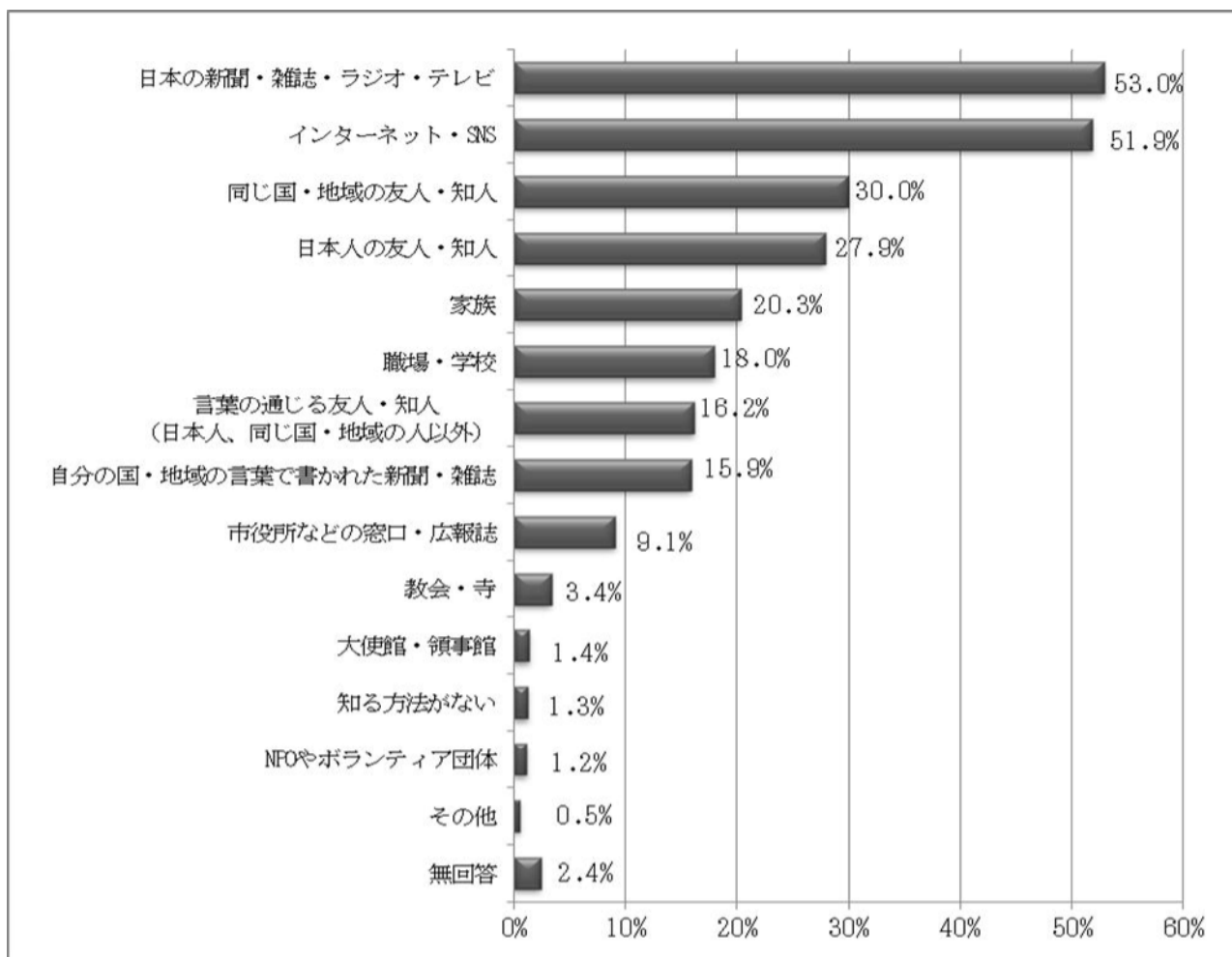
	平成28年度 (693人)			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	サービス業	195	28.1%	専門・技術職	29.3%
2	専門・技術職	127	18.3%	店員・ウェ이터・ウェイトレス	24.3%
3	建設・土木作業員・工員	91	13.1%	事務職	11.5%
	事務職	91	13.1%	自営業・事業主	9.4%
5	調理師	47	6.8%	工員	8.0%
6	清掃	15	2.2%	清掃・建設・土木作業員	7.7%
7	教員（語学教師を含む）	14	2.0%	教員（語学教師も含む）	1.9%
8				芸能人（エンターティナー）	0.2%
9	その他	94	13.6%	その他	5.6%
10	無回答	19	2.7%	無回答	2.1%



5 情報について

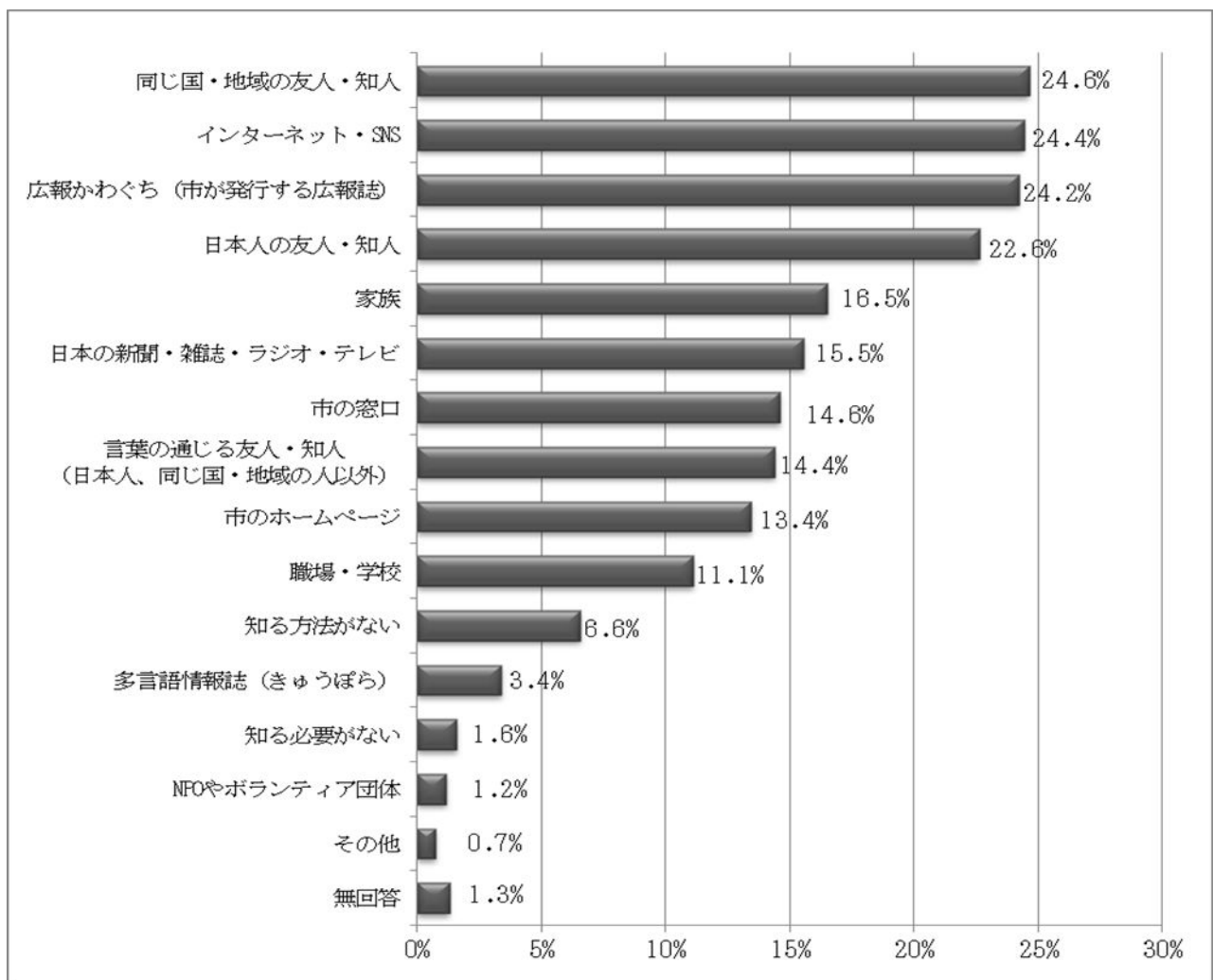
問9 あなたは、日本での生活に必要な情報をどのようにして知りますか。(〇はいくつでも)
(前回質問：あなたは、生活に必要な情報をどのようにして知りますか。)

	平成28年度			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	日本の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ	501	53.0%	日本の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ	59.7%
2	インターネット・SNS	491	51.9%	インターネット	51.1%
3	同じ国・地域の友人・知人	284	30.0%	同じ母語の友人・知人	28.1%
4	日本人の友人・知人	264	27.9%	日本人の友人・知人	24.4%
5	家族	192	20.3%	母語の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ	21.6%
6	職場・学校	170	18.0%	家族	18.3%
7	言葉の通じる友人・知人(日本人、同じ国・地域の人以外)	153	16.2%	会社・学校	11.6%
8	自分の国・地域の言葉で書かれた新聞・雑誌	150	15.9%	市役所などの窓口・広報誌	8.5%
9	市役所などの窓口・広報誌	86	9.1%	NPOやボランティア団体	3.8%
10	教会・寺	32	3.4%	協会・お寺	3.0%
11	大使館・領事館	13	1.4%	大使館・領事館	1.6%
12	知る方法がない	12	1.3%	知る方法がない	1.4%
13	NPOやボランティア団体	11	1.2%		
14	その他	5	0.5%	その他	6.0%
15	無回答	23	2.4%	無回答	5.5%



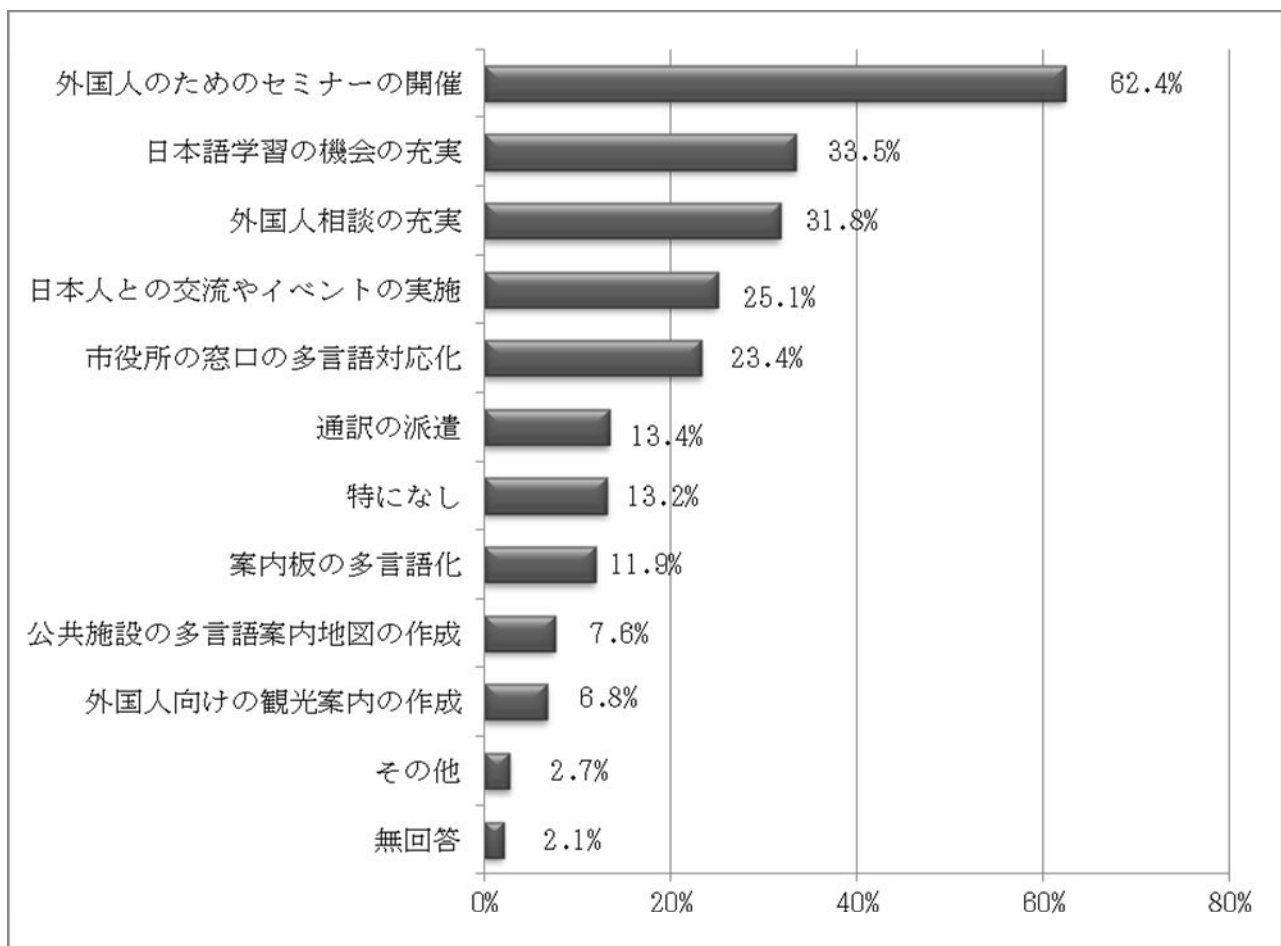
問 10 あなたは、川口市の情報をどのようにして知りますか。(〇はいくつでも)

	平成 2 8 年度			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	同じ国・地域の友人・知人	233	24.6%	友人・知人	35.0%
2	インターネット・SNS	231	24.4%	インターネット	24.3%
3	広報かわぐち（市が発行する広報誌）	229	24.2%	広報かわぐち	22.0%
4	日本人の友人・知人	214	22.6%	市の窓口	16.9%
5	家族	158	16.5%	日本語のテレビ・ラジオ	13.2%
6	日本の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ	147	15.5%	知る方法がない	11.5%
7	市の窓口	138	14.6%	市のホームページ	10.3%
8	言葉の通じる友人・知人（日本人、同じ国・地域の人以外）	136	14.4%	日本語の新聞・雑誌	6.3%
9	市のホームページ	127	13.4%	きゅうぼら（多言語情報誌）	5.4%
10	職場・学校	105	11.1%	自分がいる職場・学校	5.0%
11	知る方法がない	62	6.6%	ボランティアグループ	2.6%
12	多言語情報誌（きゅうぼら）	32	3.4%		
13	知る必要がない	15	1.6%		
14	NPO やボランティア団体	11	1.2%		
15	その他	7	0.7%	その他	2.3%
16	無回答	12	1.3%	無回答	4.4%



問 1 1 あなたが、川口市にもっとしてほしいことはどれですか。(〇はいくつでも)

	平成 2 8 年度			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	外国人のためのセミナーの開催	590	62.4%	外国人相談を充実する	28.6%
2	日本語学習の機会の充実	317	33.5%	日本語学習の機会の充実する	28.0%
3	外国人相談の充実	301	31.8%	日本人との交流やイベントを実施する	27.2%
4	日本人との交流やイベントの実施	237	25.1%	窓口の多言語化対応	23.8%
5	市役所の窓口の多言語対応化	221	23.4%	図書館にいろいろな国のことばで書かれた本を増やす	19.2%
6	通訳の派遣	127	13.4%	さまざまな案内板を日本語と外国語で書く	14.9%
7	案内板の多言語化	113	11.9%	外国人向けに観光案内を作って配る	13.5%
8	公共施設の多言語案内地図の作成	72	7.6%	通訳に来てもらえるようにする	12.9%
9	外国人向けの観光案内の作成	64	6.8%	いろいろな国のことばで公共施設の案内地図を作って配る	12.7%
10	特になし	125	13.2%	特になし	13.9%
11	その他	26	2.7%	その他	6.0%
12	無回答	20	2.1%	無回答	6.4%

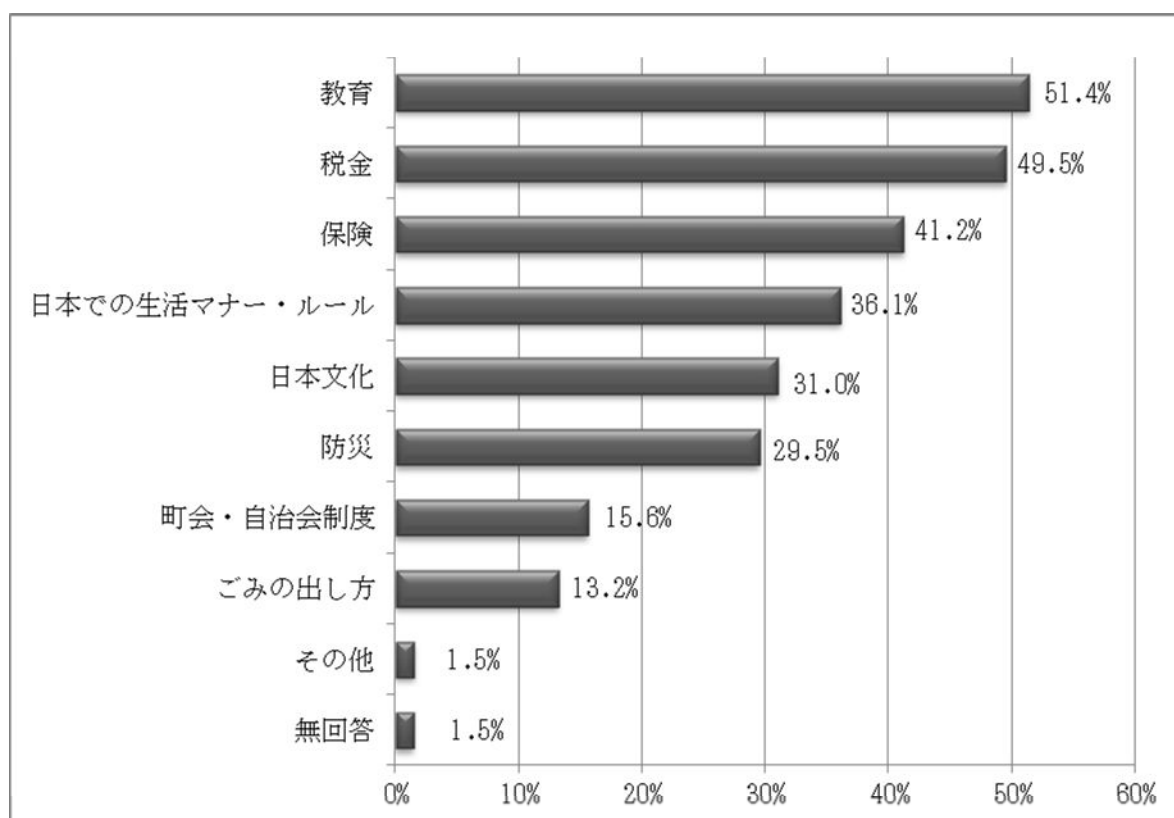


問 1 1 - 1 問 1 1 で「外国人のためのセミナーの開催」を選んだ人にお聞きします。

川口市が外国人向けにセミナーを開催した場合、どのような内容なら参加したいですか。(〇はいくつでも)：新規質問

全体 (有効回答数：590件)

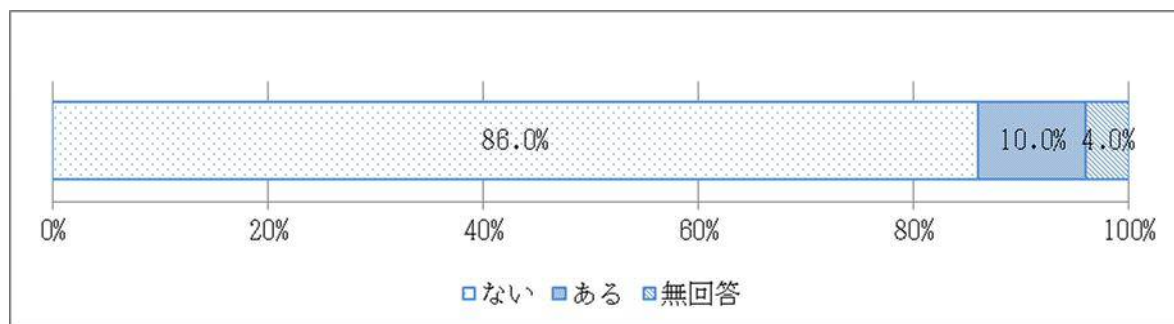
	選択肢	人数	割合
1	教育	303	51.4%
2	税金	292	49.5%
3	保険	243	41.2%
4	日本での生活マナー・ルール	213	36.1%
5	日本文化	183	31.0%
6	防災	174	29.5%
7	町会・自治会制度	92	15.6%
8	ごみの出し方	78	13.2%
9	その他	9	1.5%
10	無回答	9	1.5%



問 1 2 川口市の外国人相談窓口を利用したことがありますか。

(前回質問：外国人相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ))

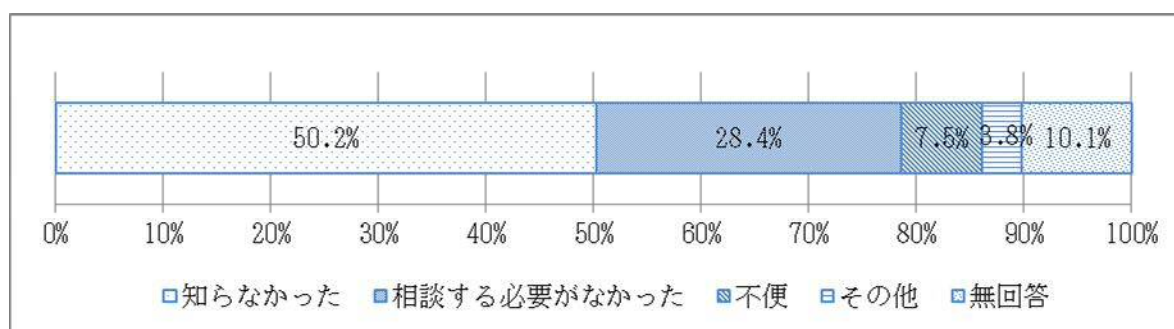
	平成 2 8 年度		平成 2 5 年度
	人数	割合	割合
ある	95	10.0%	13.8%
ない	814	86.0%	81.9%
無回答	37	4.0%	4.3%



問 1 2 - 1 問 1 2 で「ない」を選んだ人にお聞きします。理由を教えてください。

(○は1つだけ)

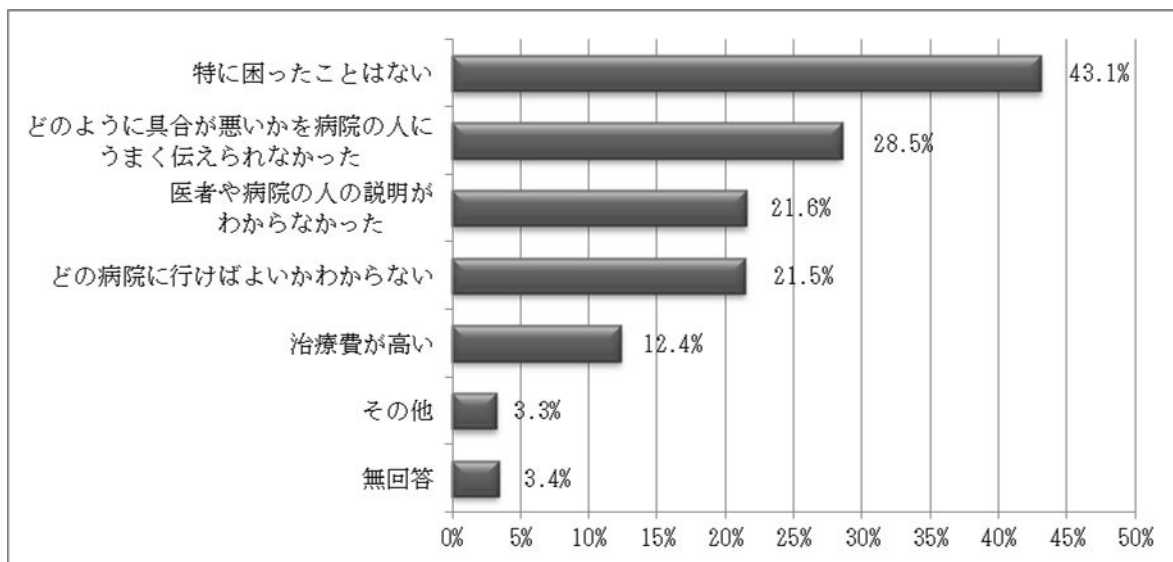
	平成 2 8 年度 (8 1 4 人)			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	知らなかった	409	50.2%	相談する必要がなかった	31.9%
2	相談する必要がなかった	231	28.4%	知らなかった	48.7%
3	不便	61	7.5%	不便	6.5%
4	その他	31	3.8%	その他	2.9%
5	無回答	82	10.1%	無回答	10.0%



6 医療・保険・年金について

問 1 3 あなたや、あなたの家族が病気になったとき、困ったことがありますか。
(〇はいくつでも)

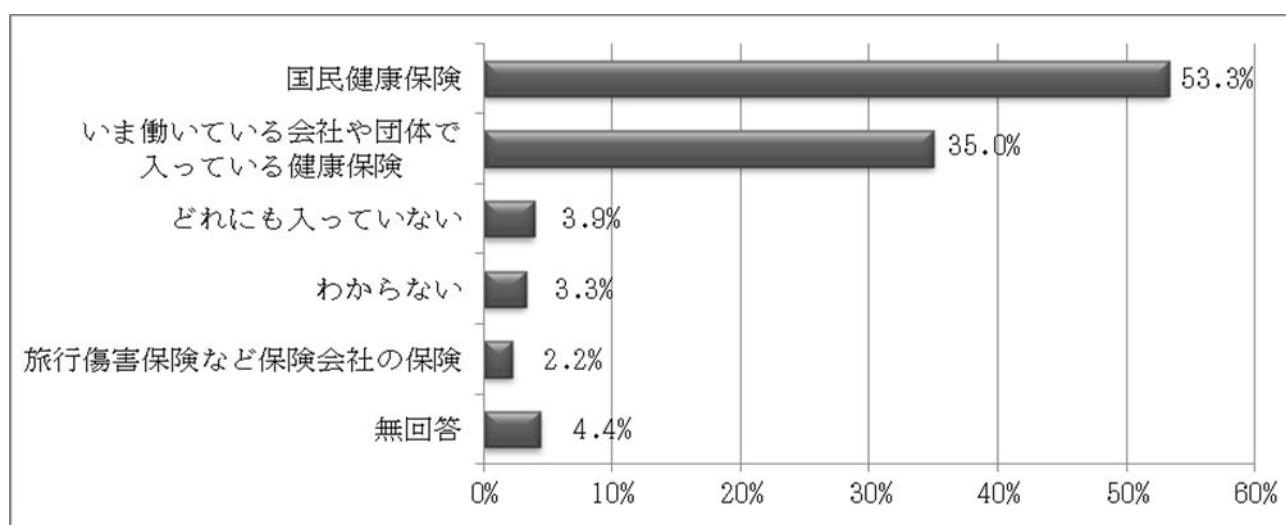
	平成 2 8 年度			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	特に困ったことはない	408	43.1%	特に困ったことはない	35.7%
2	どのように具合が悪いかを病院の人にうまく伝えられなかった	270	28.5%	どのように具合が悪いかを病院の人にうまく伝えられなかった	25.1%
3	医者や病院の人の説明がわからなかった	204	21.6%	どの病院に行けばよいかわからない	23.4%
4	どの病院に行けばよいかわからない	203	21.5%	治療費が高い	19.6%
5	治療費が高い	117	12.4%	医者や病院の人の説明がわからなかった	19.1%
6	その他	31	3.3%	その他	4.2%
7	無回答	32	3.4%	無回答	6.8%



問 1 4 あなたは、現在どんな健康保険に入っていますか（○はいくつでも）

（※前回質問：あなたは、現在どんな健康保険（市役所で入る保険と働いている会社や団体で入る保険）に入っていますか。（○は1つだけ））

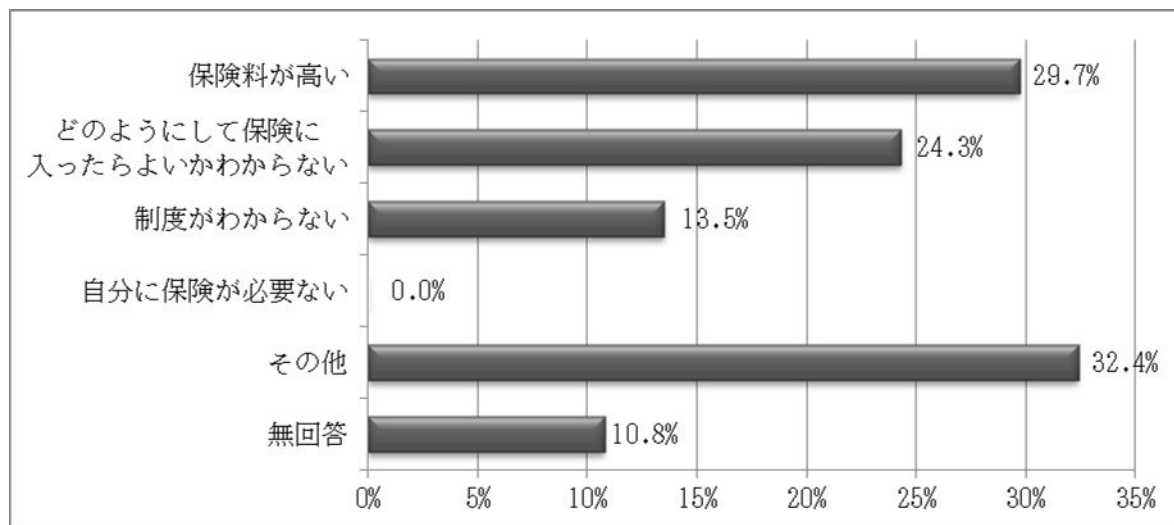
	平成 2 8 年度			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	国民健康保険	504	53.3%	市役所で入った国民健康保険	51.4%
2	いま働いている会社や団体で入っている健康保険	331	35.0%	今働いている会社や団体で入っている健康保険	31.0%
3	どれにも入っていない	37	3.9%	どれにも入っていない	10.3%
4	わからない	31	3.3%	わからない	3.2%
5	旅行傷害保険など保険会社の保険	21	2.2%		
6	無回答	42	4.4%	無回答	4.1%



問 1 4 - 1 問 1 4 で「どれにも入っていない」を選んだ人にお聞きします。理由を教えてください。(○はいくつでも)

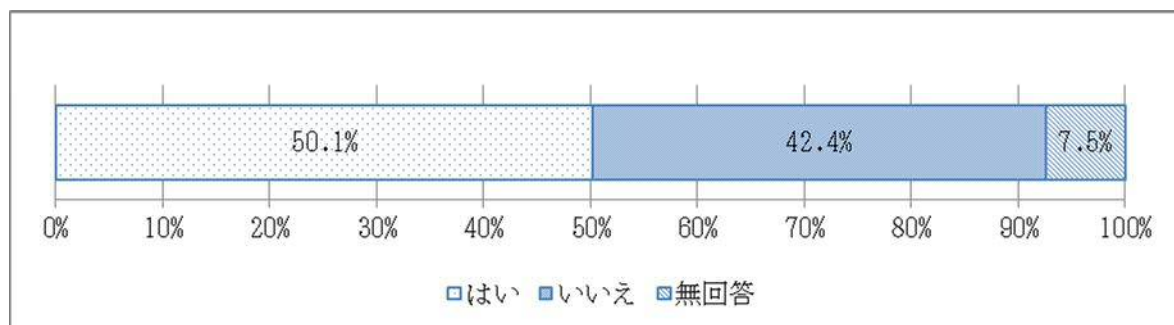
(※前回質問：なぜ、保険に入っていないのですか。(○は 1 つだけ))

	平成 2 8 年度 (3 7 人)			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	保険料が高い	11	29.7%	保険料が高い	26.2%
2	どのようにして保険に入ったらよいかわからない	9	24.3%	どのようにして保険に入ったらよいかわからない	15.5%
3	制度がわからない	5	13.5%	旅行傷害保険など保険会社の保険に入っているから	7.1%
4	自分に保険が必要ない	0	0.0%		
5	その他	12	32.4%	その他	45.2%
6	無回答	4	10.8%	無回答	6.0%



問 1 5 (新) あなたは日本の年金に加入していますか。: 新規質問

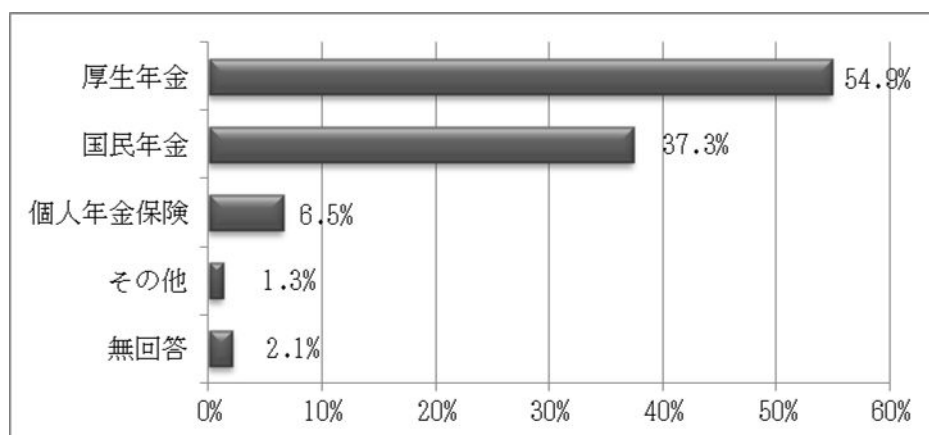
選択肢	人数	割合
①はい	474	50.1%
②いいえ	401	42.4%
無回答	71	7.5%



問 1 5 - 1 問 1 5 で「はい」を選んだ人にお聞きします。あなたが加入している年金はどれですか。(〇はいくつでも): 新規質問

全体 (有効回答数: 474 件)

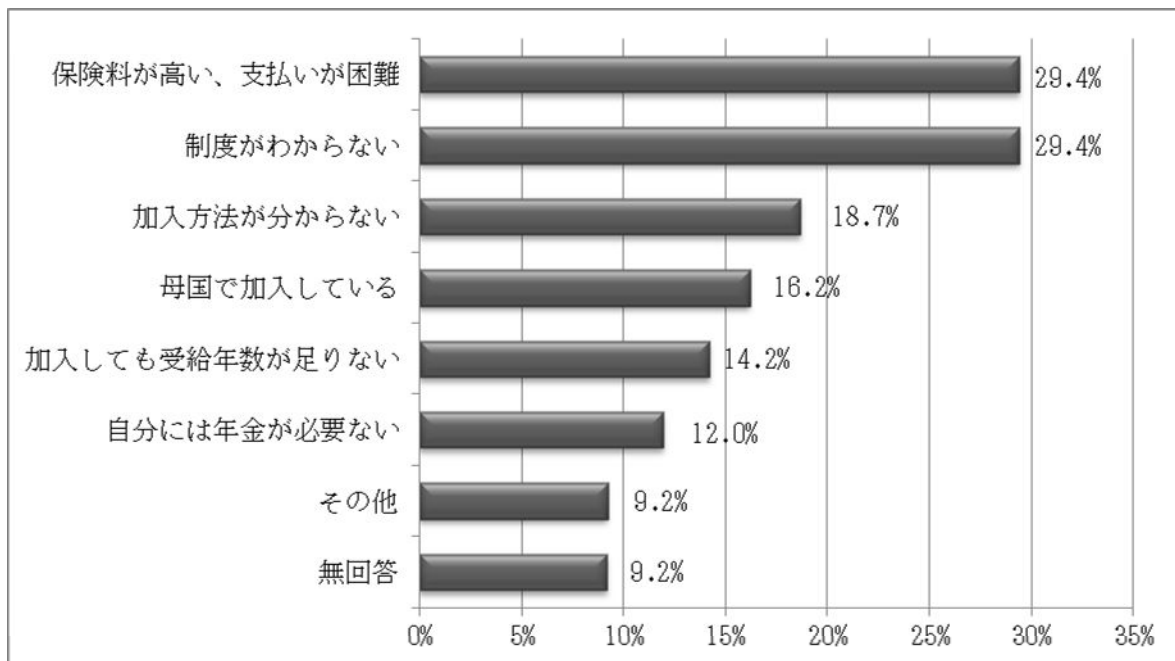
	選択肢	人数	割合
1	厚生年金	260	54.9%
2	国民年金	177	37.3%
3	個人年金保険	31	6.5%
4	その他	6	1.3%
5	無回答	20	2.1%



問 1 5 - 2 問 1 5 で「いいえ（年金に加入していない）」を選んだ人にお聞きします。加入しない理由を教えてください。（○はいくつでも）：新規質問

全体（有効回答数：401件）

	選択肢	人数	割合
1	保険料が高い、支払いが困難	118	29.4%
	制度がわからない	118	29.4%
2	加入方法がわからない	75	18.7%
3	母国で加入している	65	16.2%
4	加入しても受給年数が足りない	57	14.2%
5	自分には年金は必要ない	48	12.0%
6	その他	37	9.2%
	無回答	37	9.2%



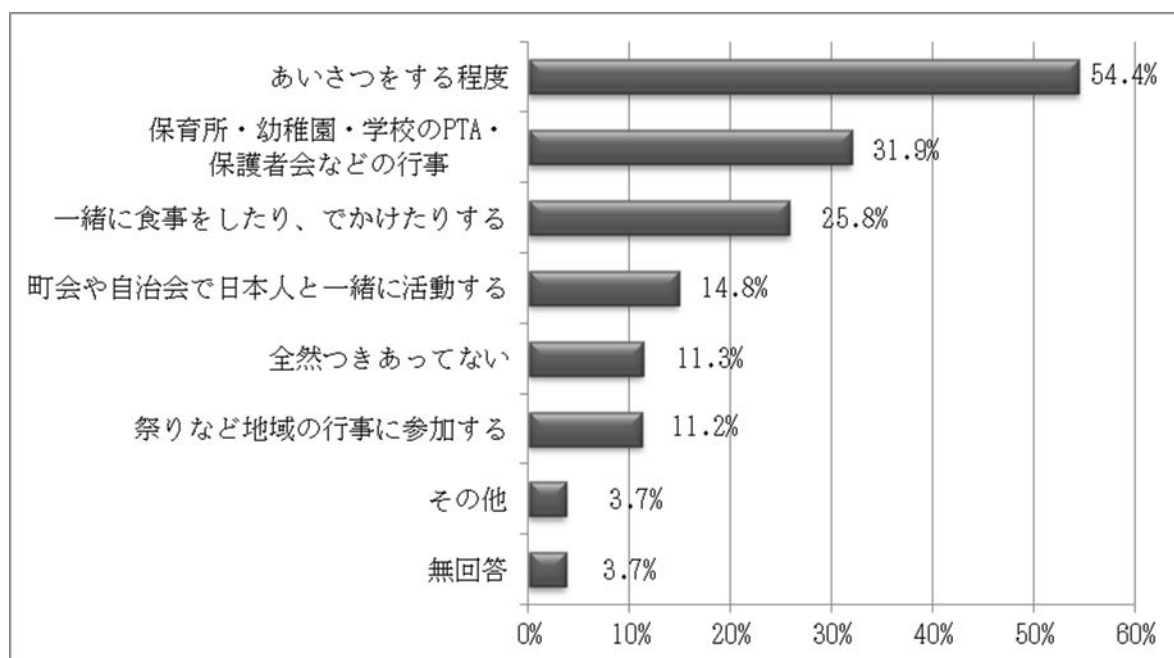
7 近所の人や職場の人との交流について

問16 あなたは、日本人（近所の人や職場の人）とどのように交流していますか。

（〇はいくつでも）

（前回質問：あなたは、日本人（近所の人や職場の人）とどのようにつきあっていますか）

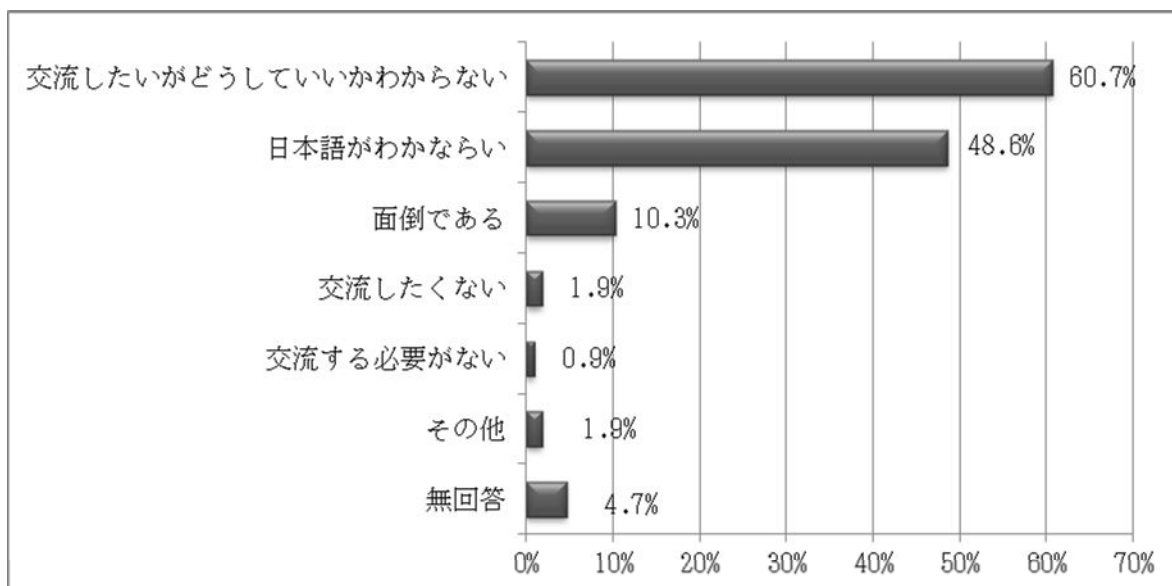
	平成28年度			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	⑤あいさつをする程度	515	54.4%	あいさつをする程度	51.5%
2	保育所・幼稚園・学校のPTA・保護者会などの行事	302	31.9%	一緒に食事をしたり、でかけたりする	26.5%
3	一緒に食事をしたり、でかけたりする	244	25.8%	保育所・幼稚園・学校のPTA・保護者会などの行事	21.4%
4	町会や自治会で日本人と一緒に活動する	140	14.8%	祭りなど地域の行事に参加する	12.1%
5	全然つきあってない	107	11.3%	全然つきあってない	11.3%
6	祭りなど地域の行事に参加する	106	11.2%	町会や自治会で日本人と一緒に活動する	7.0%
7	その他	35	3.7%	その他	4.3%
8	無回答	35	3.7%	無回答	4.8%



問１６－１ 問１６で「膳善つきあってない」を選んだ人にお聞きします。交流しない理由を教えてください。（○はいくつでも）：新規質問

全体（有効回答数：１０７件）

	選択肢	人数	割合
1	交流したいがどうしてもいいかわからない	65	60.7%
2	日本語がわからない	52	48.6%
3	面倒である	11	10.3%
4	交流したくない	2	1.9%
5	交流する必要がある	1	0.9%
6	その他	2	1.9%
7	無回答	5	4.7%

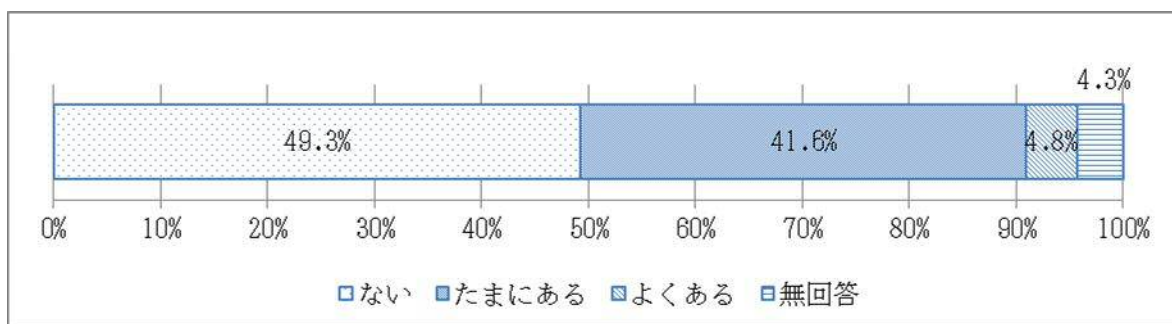


問 1 7 あなたは、自分の住んでいる所や職場で差別や偏見を感じたことがありますか。

(○は1つだけ)

(前回質問：あなたは、自分の住んでいる所や職場で「日本人の仲間に入れてもらえない」と感じることはありますか。)

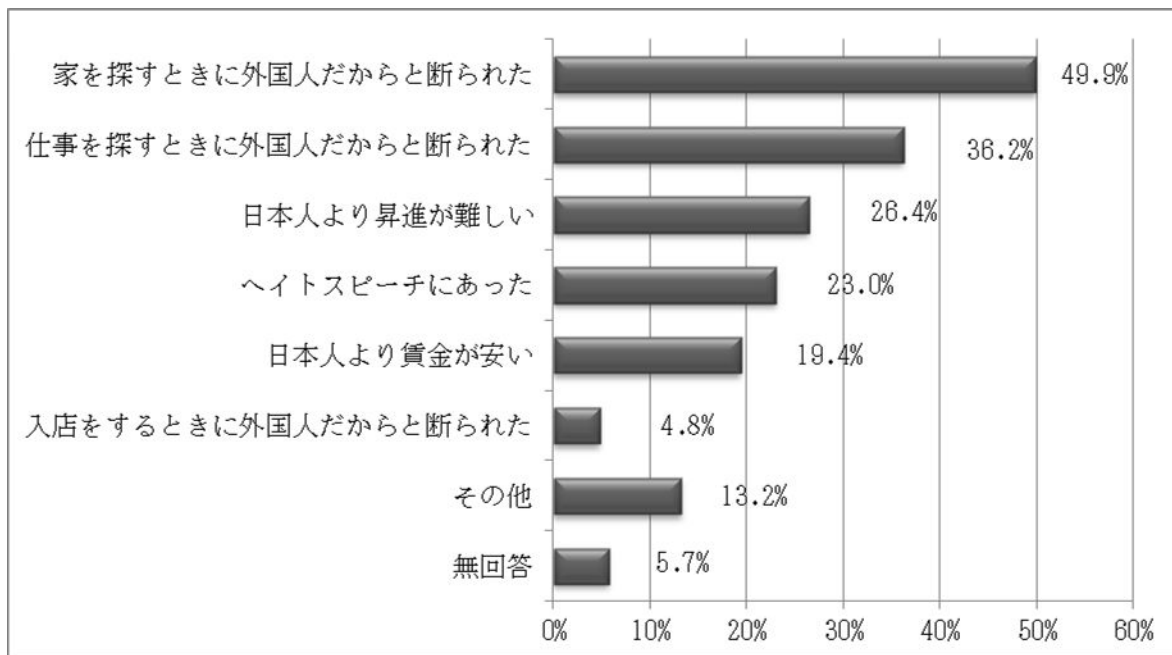
	平成28年度			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	ない	466	49.3%	たまにある	44.3%
2	たまにある	394	41.6%	ない	40.8%
3	よくある	45	4.8%	たくさんある	8.9%
4	無回答	41	4.3%	無回答	6.0%



問１７－１ 問１７で「たまにある」と「よくある」を選んだ人にお聞きします。それはどのような時でしたか。（○はいくつでも）：新規質問

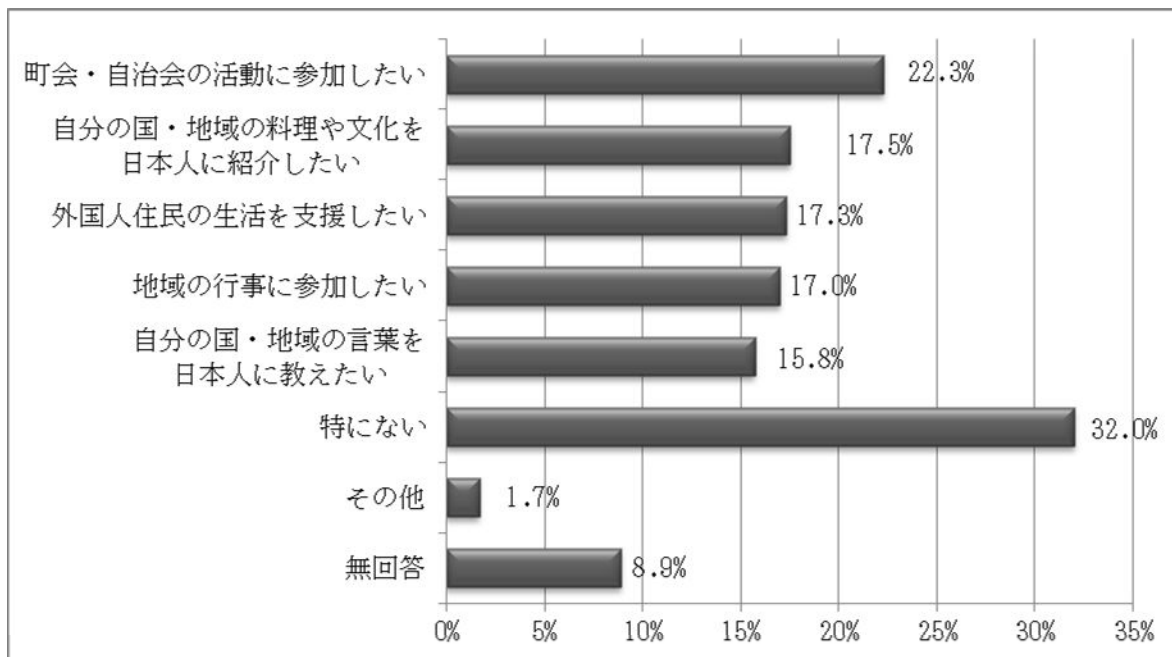
全体（有効回答数：４３９件）

	選択肢	人数	割合
1	家を探すときに外国人だからと断られた	219	49.9%
2	仕事を探すときに外国人だからと断られた	159	36.2%
3	日本人より昇進が難しい	116	26.4%
4	ヘイトスピーチにあった	101	23.0%
5	日本人より賃金が安い	85	19.4%
6	入店をするときに外国人だからと断られた	21	4.8%
7	その他	58	13.2%
8	無回答	25	5.7%



問 1 8 （新）地域の中で自分がやってみたい活動は何ですか。（○はいくつでも）：新規質問

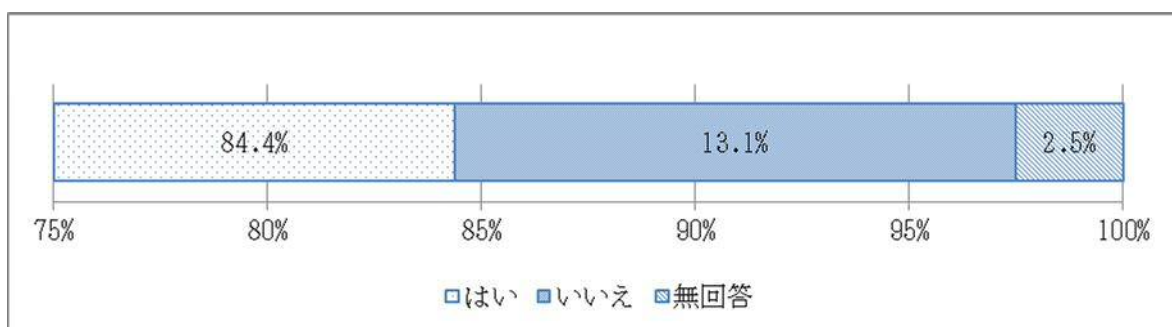
	選択肢	人数	割合
1	町会・自治会の活動に参加したい	211	22.3%
2	自分の国・地域の料理や文化を日本人に紹介したい	166	17.5%
3	外国人住民の生活を支援したい	164	17.3%
4	地域の行事に参加したい	161	17.0%
5	自分の国・地域の言葉を日本人に教えたい	149	15.8%
6	特にない	303	32.0%
7	その他	16	1.7%
8	無回答	84	8.9%



8 教育と子どもを育てることについて

問19 あなたは20歳以下の子どもがいますか。：新規質問

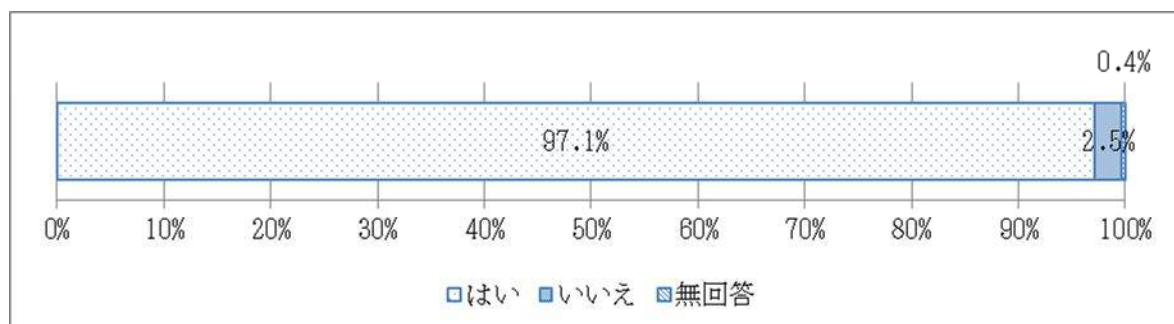
	人数	割合
はい	798	84.4%
いいえ	124	13.1%
無回答	24	2.5%



問 2 0 その子どもは日本にいますか。：新規質問

全体（有効回答数：798件）

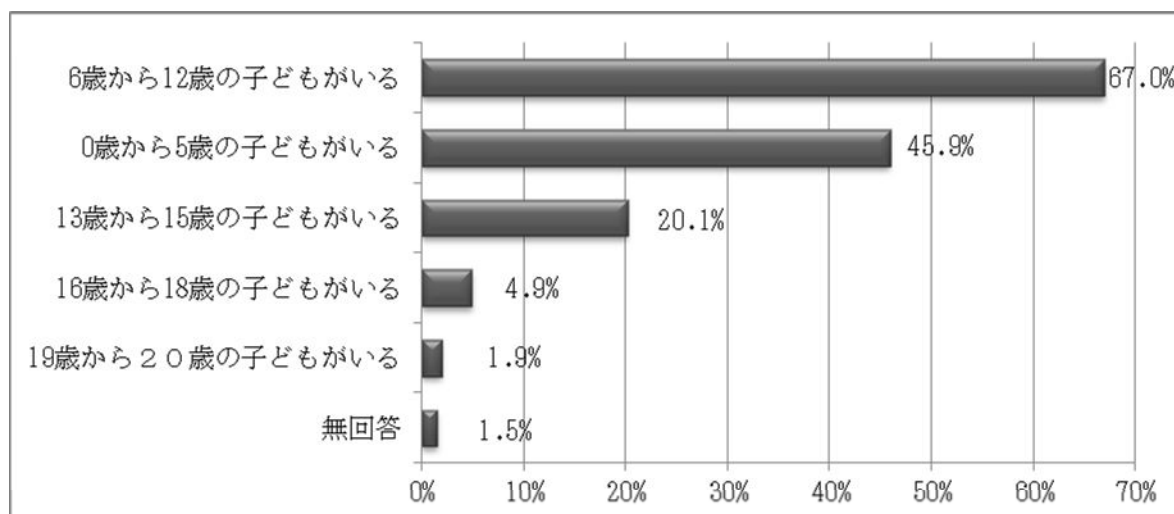
	人数	割合
はい	775	97.1%
いいえ	20	2.5%
無回答	3	0.4%



「はい」と答えた人にお聞きます。（〇はいくつでも）：新規質問

全体（有効回答数：775件）

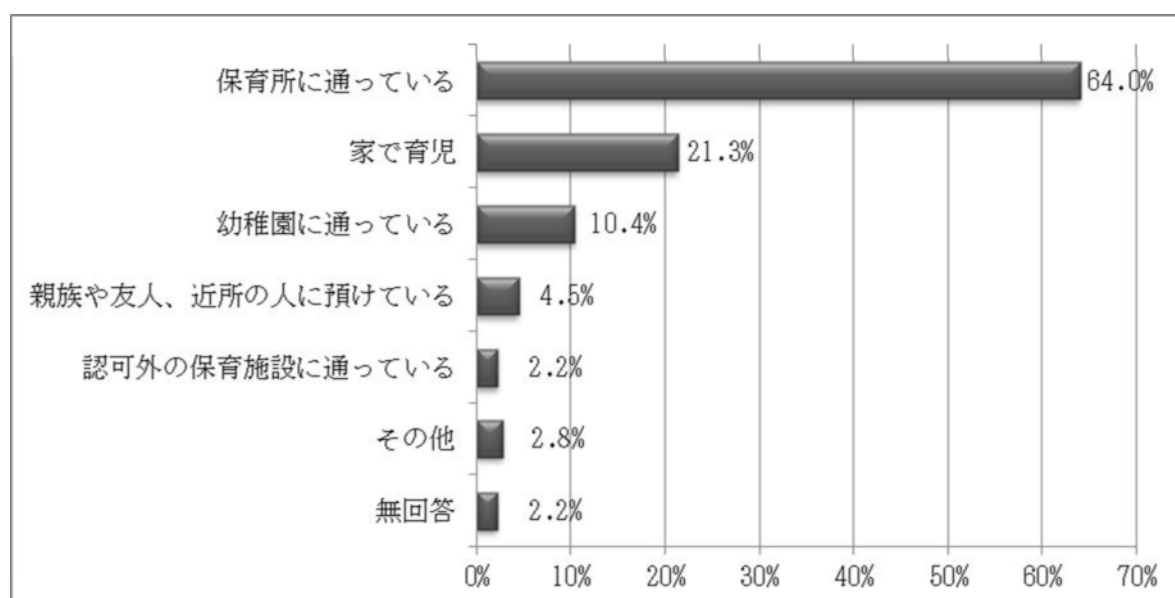
	選択肢	人数	割合
1	6歳から12歳の子どもがいる	519	67.0%
2	0歳から5歳の子どもがいる	356	45.9%
3	13歳から15歳の子どもがいる	156	20.1%
4	16歳から18歳の子どもがいる	38	4.9%
5	19歳から20歳の子どもがいる	15	1.9%
6	無回答	12	1.5%



問 2 0 - 1 あなたの子どもは保育所などに通っていますか。

(子どもが二人以上いて、ちがう種類の項目にあてはまる場合は、それぞれに○をつけてください)

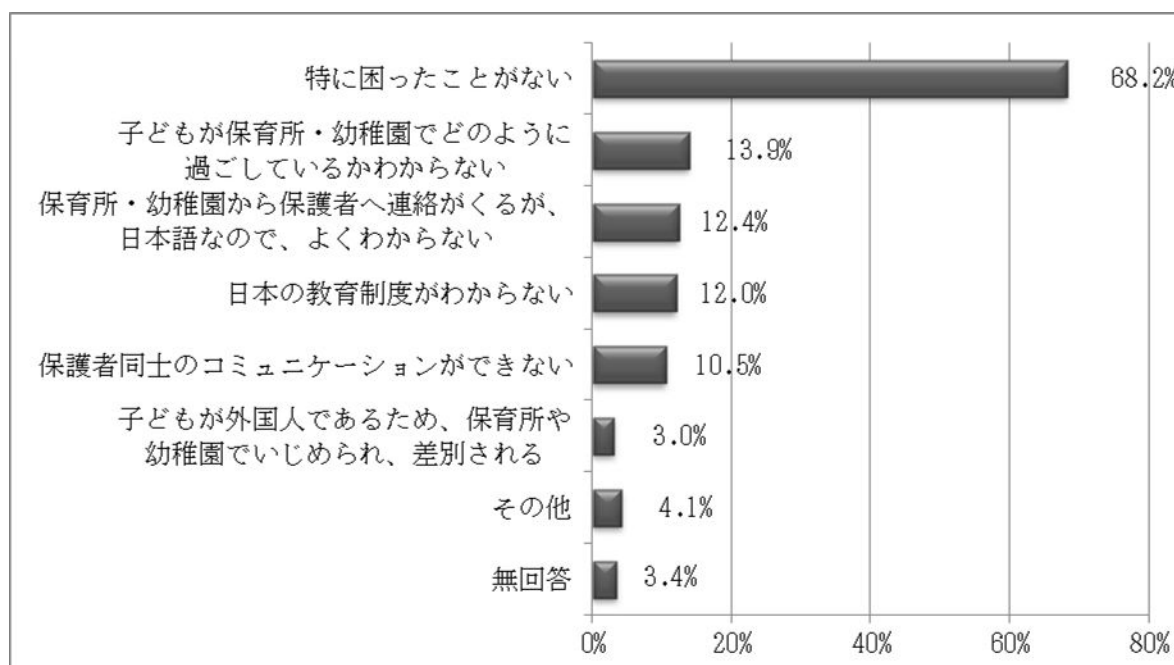
	平成 2 8 年度 (3 5 6 人)			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	保育所に通っている	228	64. 0%	保育所に通っている	63. 7%
2	家で育児	76	21. 3%	家で育児	24. 3%
3	幼稚園に通っている	37	10. 4%	幼稚園に通っている	11. 3%
4	親族や友人、近所の人に預けている	16	4. 5%	親族や友人、近所の人に預けている	5. 6%
5	認可外の保育施設に通っている	8	2. 2%	認可外の保育施設に通っている	2. 5%
6	その他	10	2. 8%	その他	2. 1%
7	無回答	8	2. 2%	無回答	2. 1%



問 20-2 子どもが保育所、幼稚園に通っている方にお聞きします。保育所、幼稚園で、困っていることはありますか。(○はいくつでも)：新規質問

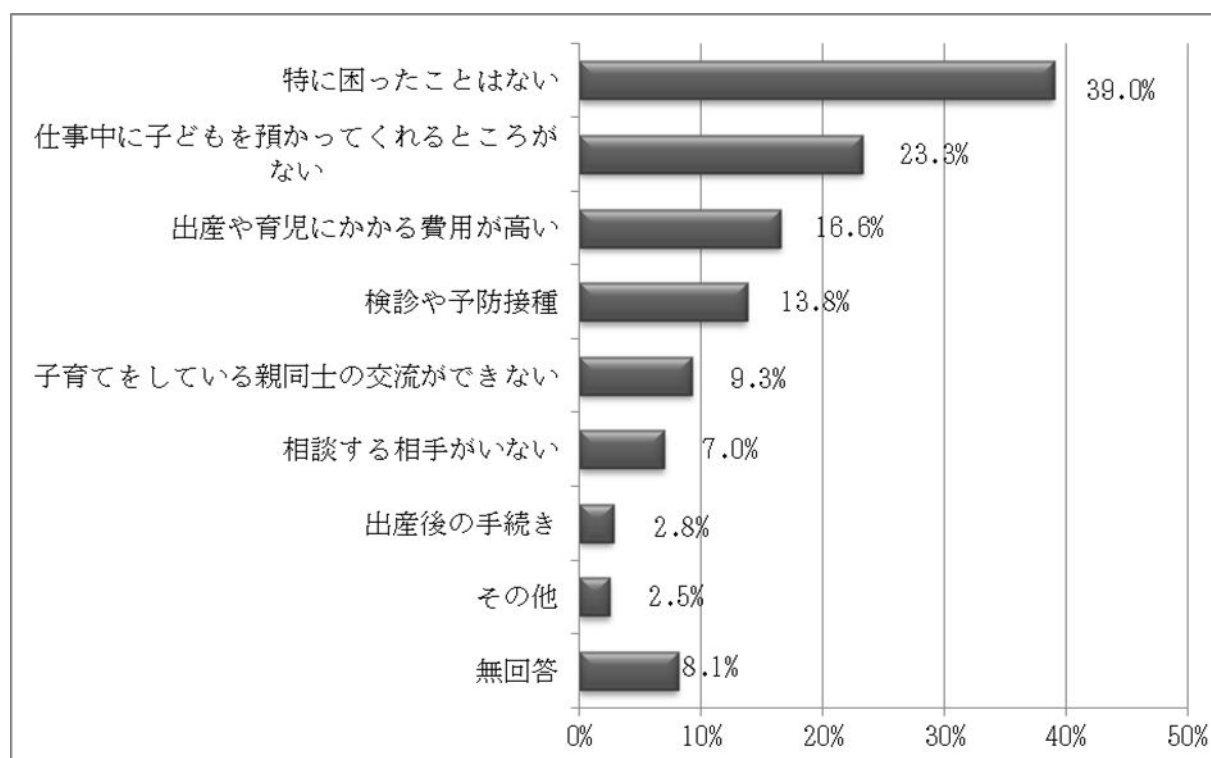
全体（有効回答数：263件）

	選択肢	人数	割合
1	特に困ったことはない	182	68.2%
2	子どもが保育所・幼稚園でどのように過ごしているかわからない	37	13.9%
3	保育所・幼稚園から保護者へ連絡がくるが、日本語なのでよくわからない	33	12.4%
4	日本の教育制度がわからない	32	12.0%
5	保護者同士のコミュニケーションができない	28	10.5%
6	子どもが外国人であるため、保育所や幼稚園でいじめられ、差別される	8	3.0%
7	その他	11	4.1%
8	無回答	9	3.4%



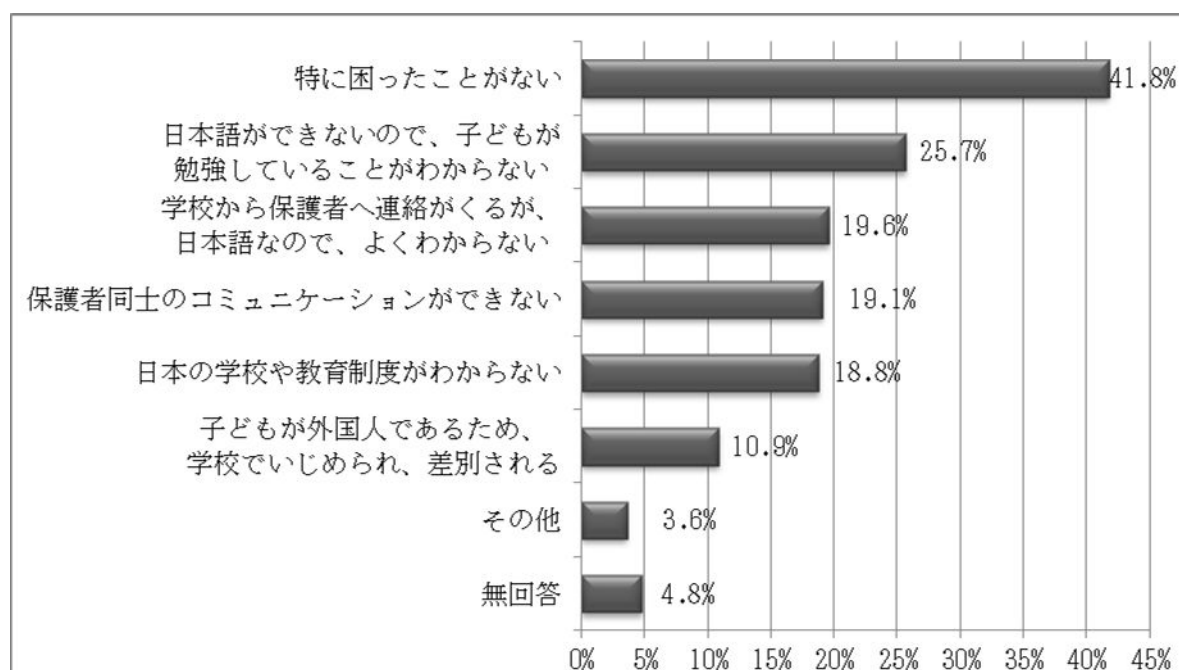
問 20-3 子育てで困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

	平成28年度 (356人)			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	特に困ったことはない	139	39.0%	特にない	35.2%
2	仕事に子どもを預かってくれるところがない	83	23.3%	仕事に子どもを預かってくれるところがない	27.5%
3	出産や育児にかかる費用が高い	59	16.6%	出産や育児にかかる費用が高い	16.9%
4	検診や予防接種	49	13.8%	検診や予防接種	13.4%
5	子育てをしている親同士の交流ができない	33	9.3%	相談する相手がいない	10.9%
6	相談する相手がいない	25	7.0%	子育てをしている親同士の交流ができない	10.6%
7	出産後の手続き	10	2.8%	妊娠や出産などの手続き	3.9%
8	その他	9	2.5%	その他	9.9%
9	無回答	29	8.1%	無回答	4.2%



問 20-4 学校で、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

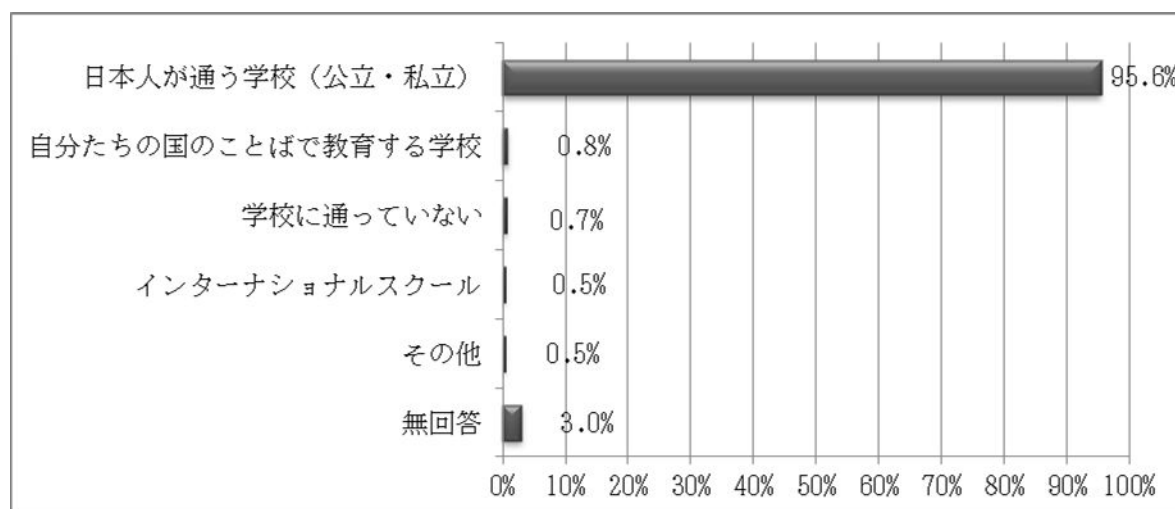
	平成28年度 (608人)			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	特に困ったことがない	254	41.8%	特に困ったことがない	46.2%
2	日本語ができないので、子どもが勉強していることがわからない	156	25.7%	学校から保護者へ連絡がくるが、日本語なので、よくわからない	28.4%
3	学校から保護者へ連絡がくるが、日本語なので、よくわからない	119	19.6%	日本の学校や教育制度がわからない	22.6%
4	保護者同士のコミュニケーションができない	116	19.1%	日本語ができないので、子どもが勉強していることがわからない	22.1%
5	日本の学校や教育制度がわからない	114	18.8%	子どもが外国人であるため、学校でいじめられ、差別される	11.5%
6	子どもが外国人であるため、学校でいじめられ、差別される	66	10.9%	友達ができない	8.7%
7	その他	22	3.6%	その他	6.3%
8	無回答	29	4.8%	無回答	3.8%



問 20-5 あなたの子どもが通っている学校は、どれですか。

(子どもが二人以上いて、ちがう種類の項目にあてはまる場合は、それぞれに○をつけてください)

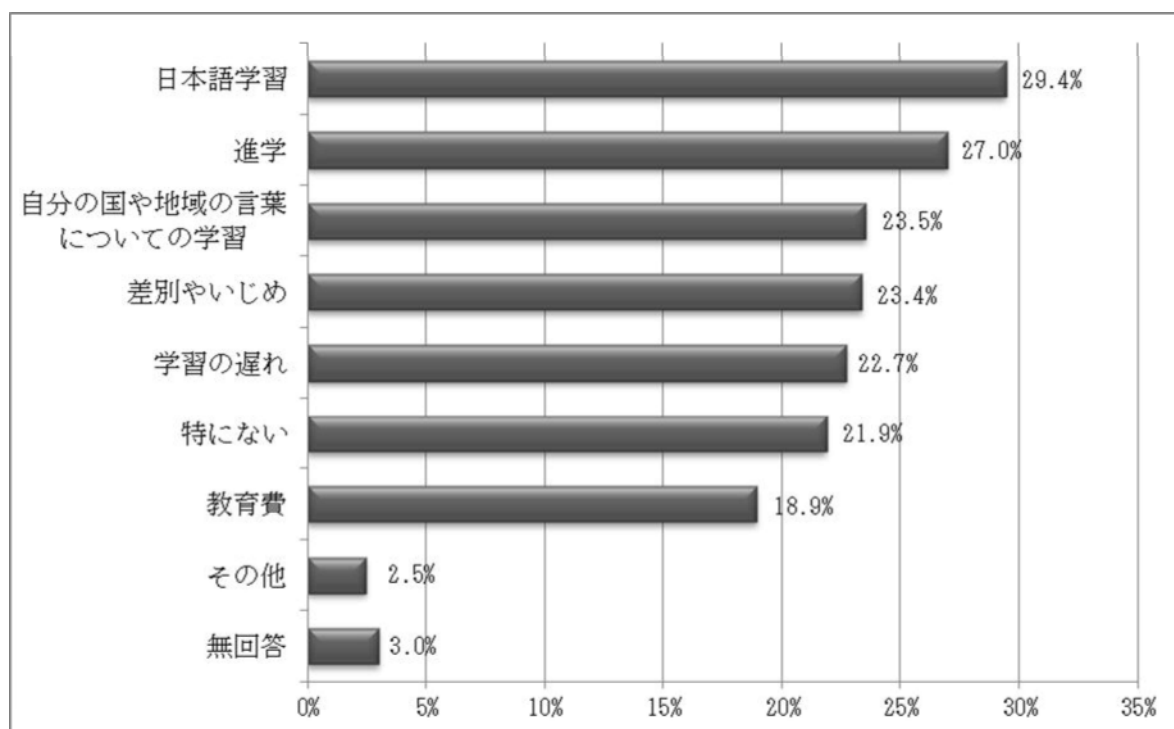
	平成28年度 (608人)			平成25年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	日本人が通う学校（公立・私立）	581	95.6%	日本人が通う学校（公立・私立）	88.5%
2	自分たちの国のことばで教育する学校	5	0.8%	自分たちの国のことばで教育する学校	8.2%
3	学校に通っていない	4	0.7%	インターナショナルスクール	3.8%
5	インターナショナルスクール	3	0.5%	学校に通っていない	2.4%
	その他	3	0.5%		
6	無回答	18	3.0%	無回答	2.9%



問 2 0 - 6 子どもの教育で不安を感じたことはありますか。(○はいくつでも)

(前回質問：小学生以上の子どもの教育で不安を感じたことはありますか。)

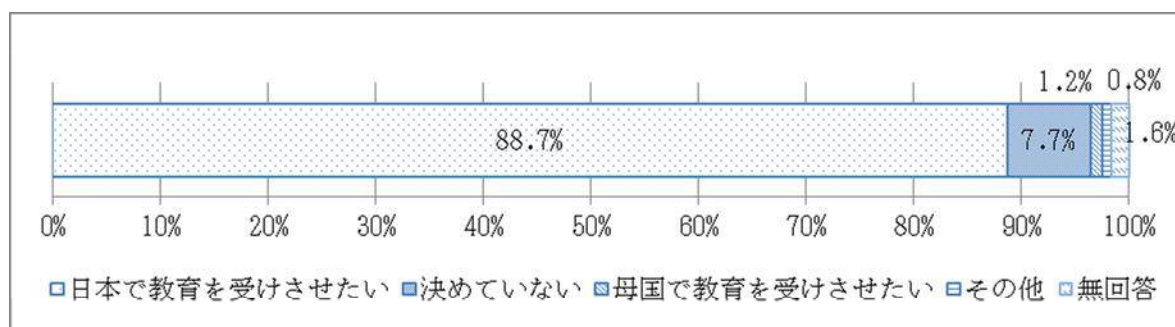
	平成 2 8 年度 (6 0 8 人)			平成 2 5 年度	
	選択肢	人数	割合	選択肢	割合
1	日本語学習	179	29.4%	日本で進学	32.7%
2	進学	164	27.0%	特にない	27.4%
3	自分の国や地域の言葉についての学習	143	23.5%	日本語学習	22.6%
4	差別やいじめ	142	23.4%	教育費	21.2%
5	学習の遅れ	138	22.7%	差別やいじめ	19.7%
6	特にない	133	21.9%	母語や母国についての学習	16.8%
7	教育費	115	18.9%	母語で進学	4.8%
8	その他	15	2.5%	その他	3.8%
9	無回答	18	3.0%	無回答	6.7%



問 2 0 - 7 子どもの教育について、どのように考えていますか。(○は1つだけ)：新規質問

全体 (有効回答数：608件)

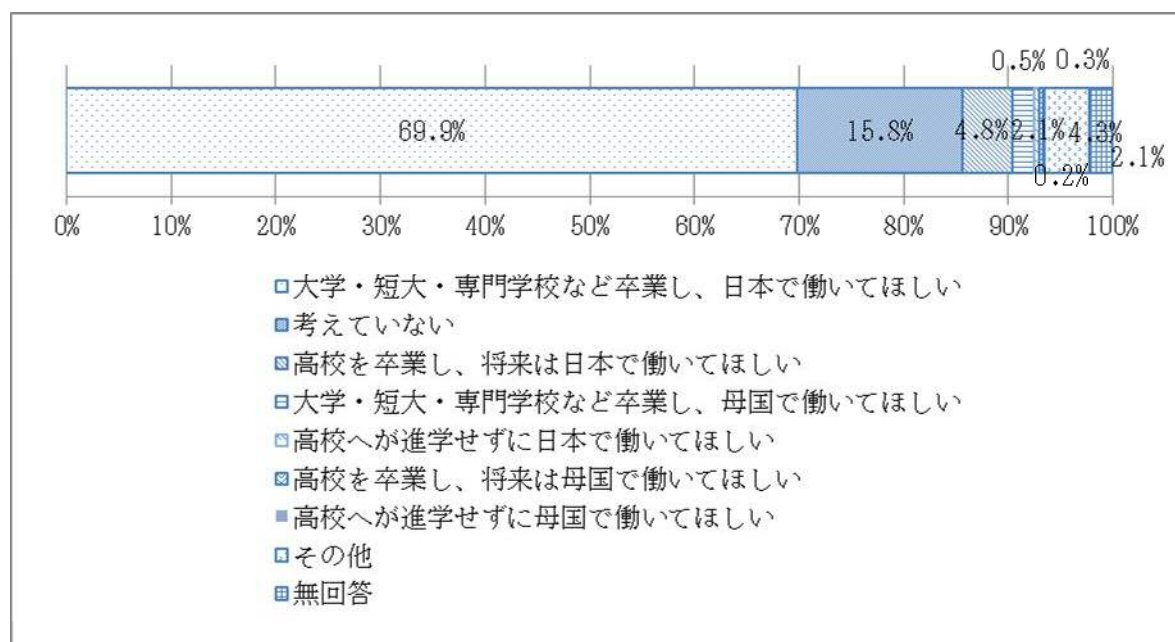
	選択肢	人数	割合
1	日本で教育を受けさせたい	539	88.7%
2	決めていない	47	7.7%
3	母国で教育を受けさせたい	7	1.2%
4	その他	5	0.8%
5	無回答	10	1.6%



問 20-8 子どもの将来について、どのように考えていますか。(○は1つだけ)：新規質問

全体（有効回答数：608件）

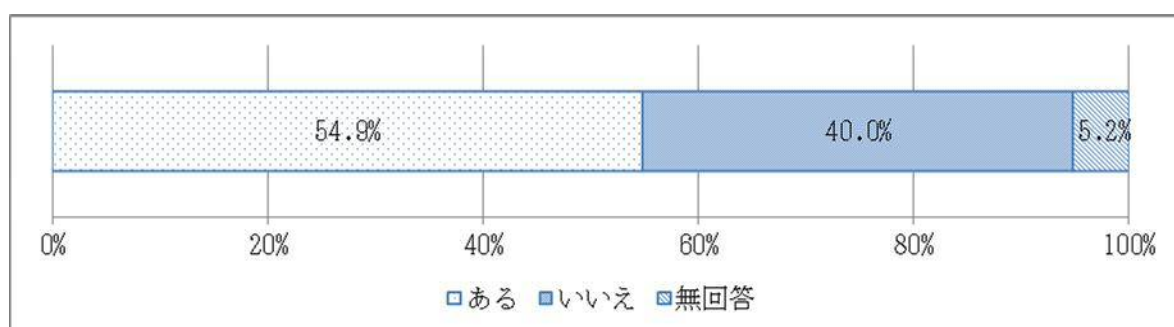
	選択肢	人数	割合
1	大学・短大・専門学校など卒業し、日本で働いてほしい	425	69.9%
2	考えていない	96	15.8%
3	高校を卒業し、将来は日本で働いてほしい	29	4.8%
4	大学・短大・専門学校など卒業し、母国で働いてほしい	13	2.1%
5	高校へ進学せずに日本で働いてほしい	3	0.5%
6	高校を卒業し、将来は母国で働いてほしい	2	0.3%
7	高校へ進学せずに母国で働いてほしい	1	0.2%
8	その他	26	4.3%
9	無回答	13	2.1%



9 防災について

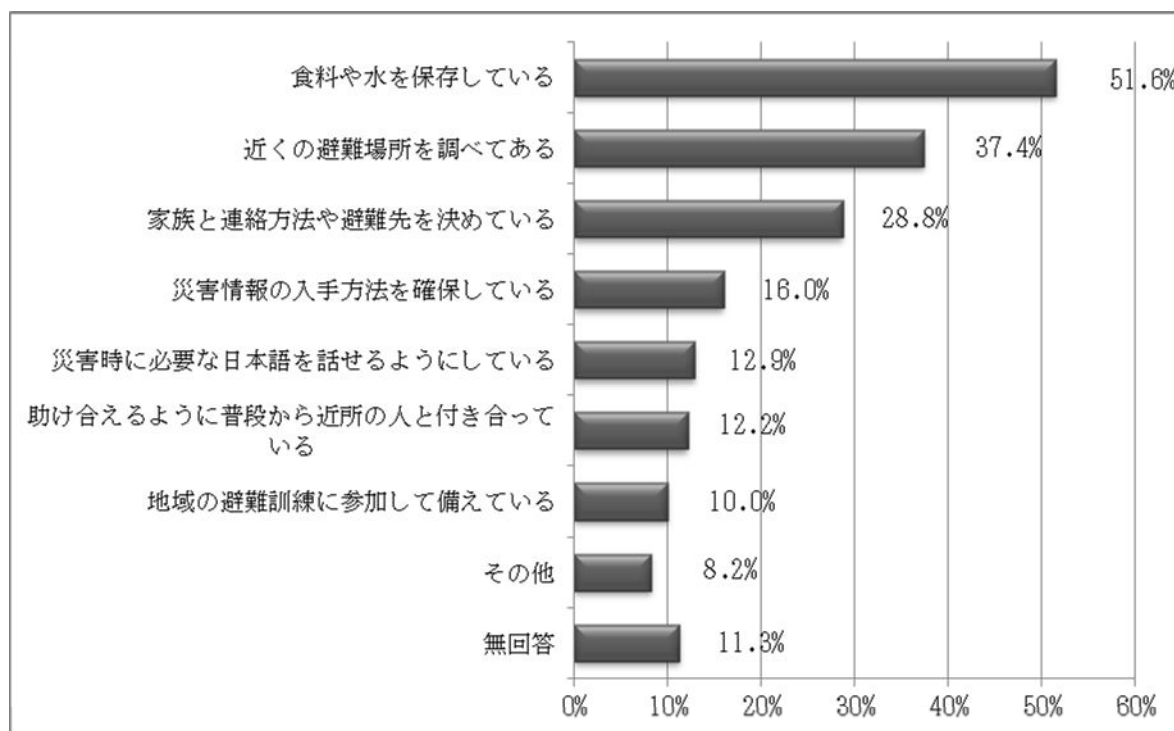
問 2 1 今まで大きな災害（地震や洪水など）を経験したことがありますか。：新規質問

	人数	割合
ある	519	54.9%
いいえ	378	40.0%
無回答	49	5.2%



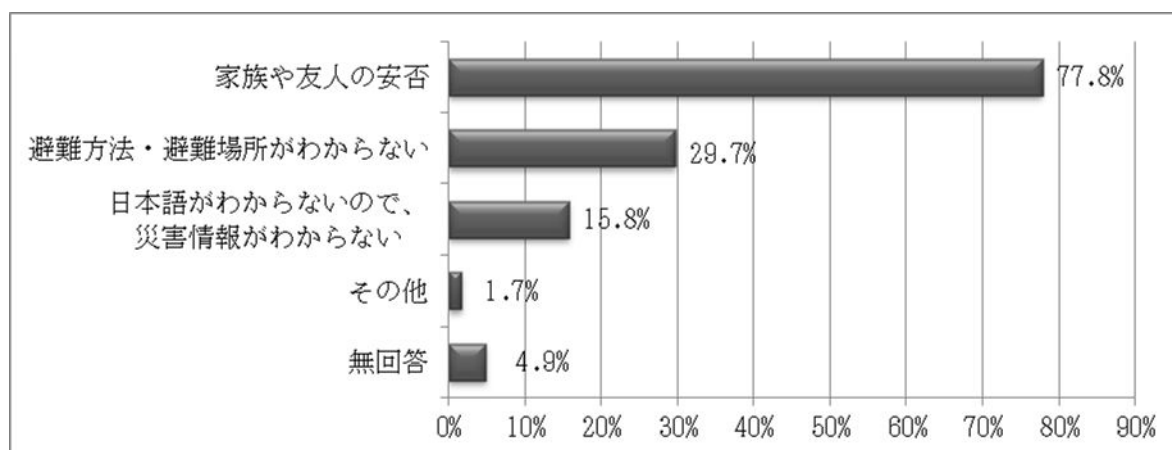
問 2 2 大きな災害が起きたときに備えて、何か準備をしていますか。(○はいいくつでも)
：新規質問

	選択肢	人数	割合
1	食糧や水を保存している	488	51.6%
2	近くの避難場所を調べている	354	37.4%
3	家族と連絡方法や避難先を決めている	272	28.8%
4	災害情報の入手方法を確保している	151	16.0%
5	災害時に必要な日本語を話せるようにしている	122	12.9%
6	助け合えるように普段から近所の人と付き合っている	115	12.2%
7	地域の避難訓練に参加して備えている	95	10.0%
8	その他	78	8.2%
9	無回答	107	11.3%



問 2 3 災害が起きたときに、何が心配ですか。(〇はいくつでも)：新規質問

	選択肢	人数	割合
1	家族や友人の安否	736	77.8%
2	避難方法・避難場所がわからない	281	29.7%
3	日本語がわからないので、災害情報がわからない	149	15.8%
4	その他	16	1.7%
5	無回答	46	4.9%



問 2 4 災害などの緊急時に備えるために、市役所にどのような対策を望みますか。
(○はいくつでも)：新規質問

	選択肢	人数	割合
1	緊急時に多言語の放送や誘導を行う	441	46.6%
2	多言語の緊急対応パンフレットを配る	435	46.0%
3	避難場所の地図や掲示などを多言語にする	366	38.7%
4	地域の防災訓練の開催情報の提供	281	29.7%
5	避難所内の掲示板などを多言語にする	256	27.1%
6	避難所などに通訳を派遣する	208	22.0%
7	その他	30	3.2%
8	無回答	46	4.9%

